

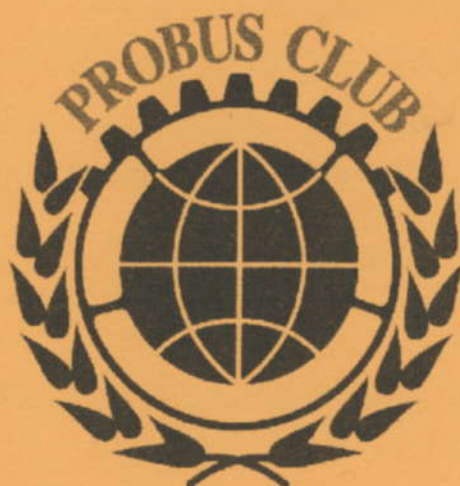
《平成 20 年》

プロバス生涯学習サロン

第 12 回

学習サロンのテーマ

学 ぼう 豊かな社会経験
語 ろ う それぞれのライフワークと趣味を
広げよう 知り合いと知識を



<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp/>

主催 東京ハ王子プロバスクラブ
後援 ハ王子市
ハ王子市教育委員会
東京ハ王子南ロータリークラブ

目 次

第12回生涯学習サロンを終わって……………	(1)
カリキュラムと日程 ……………	(2)
2月28日 開 講 式 ……………	(3)
特別講話「浅川の自然環境—いまとむかし—」……………	(4)
3月13日 A. 裁判員制度—もしもあなたやご家族が選ばれたら— ……………	(6)
B. 懐かしい名歌手による女学生愛唱歌 ……………	(8)
C. 日本の神々の原郷対馬 ……………	(10)
D. ジプシーの謎を追って ……………	(12)
3月27日 A. 上杉鷹山の師・細井平洲から学ぶ教育の原点……………	(14)
B. “この道はいつか来た道” 映像で見るふるさとの道 ……………	(16)
C. 八王子の庚申信仰・庚申塔 ……………	(18)
D. からだを動かして健康になろう ……………	(20)
4月10日 A. 激動をする中国を視る ……………	(22)
B. 経済の動きと私たちの暮らし……………	(24)
C. あなたも絵手紙描いてみませんか ……………	(26)
D. 日本人の心に刻まれた あの短歌、あの人物 ……………	(28)
4月24日 A. 八王子が育んだ偉大な禅僧 鈴木正三について ……………	(30)
B. パソコンと親しむデジカメ講座 ……………	(32)
C. 原子力はいま ……………	(34)
D. 南米回想 —技術協力、日系人社会とのふれあい、自然と暮らし—	(36)
5月 8日 野外サロン ……………	(38)
5月22日 閉 講 式 ……………	(40)
特別講話「日本にオペラがやって来た日」……………	(42)
写 真 集 ……………	(44)
第12回生涯学習サロン参加者数 ……………	(46)

平成 20 年 6 月 1 日

第 12 回生涯学習サロンを終えて



東京八王子プロバスクラブ
会長 宮崎 浩平

私達の生涯学習サロンも多くの方々の参加を頂き、無事終わることが出来ました。偏に皆様方の暖かいご支援とご協力の賜と心より厚く御礼を申し上げます。

本年度の私達プロバスクラブのテーマは「ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を」と致しましたことから、2 月 28 日の開講式における小倉先生の特別講話「浅川の自然環境、いまとむかし」はテーマに相応しいお話であったと思います。きっと、むかしの豊かな清流、浅川を思い出された方が多かったと存じます。

また、今回のサロンは、従来好評でありました歴史、文化、経済、趣味、音楽などに加え、新しい知識の導入と致しまして、各週に現在の話題性のあるものを取り入れました。裁判員制度、八王子の庚申信仰、激動する中国、原子力発電などのテーマの話は如何でありましたでしょうか。私達の毎日の生活に少しでもお役に立てれば幸いと存じます。閉講式は「私達の輪」を広げることが意図に、日本オペレッタ協会の角理事長の話で締めさせて頂きましたが、満足のいくものであったと自己評価致しております。

しかし、まだまだこれからも地域の皆様から学ぶべき点が多々あると存じます。先人たちが辿った道を私達が如何に明日の世代に繋げて行くか、プロバスクラブの大きなテーマとして、今後も歩んでいかなければならないと考えています。これからもプロバスクラブの会員共々、切磋琢磨し、地域社会に恩返しが出来ればと思っております。

会員の皆様の努力により、例年と同じく小冊子を作りましたが、参加出来なかった講座を含め、少しでも楽しんで頂ければと存じます。また、小冊子を通してお気付きの点がありましたら、どうぞご自由にお教え下さいますようお願い申し上げます。

末筆になりますが終始一貫して第 12 回生涯学習サロンの運営、企画を担当されたプロバスクラブ全委員会の諸兄姉に改めて感謝とお礼を申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご健勝を祈念し、来年元気よく、お会い出来ますことを楽しみに致しております。有難う御座いました。

第 12 回生涯学習サロンカリキュラムと日程

会場 八王子エルシィ

開講式 2月28日(木) 13:30～16:30	13:30～14:00 開講式 14:00～14:30 コーヒータイム 14:30～16:30 特別講話「浅川の自然環境ーいまとむかしー」 講師 みずとみどり研究会代表 理学博士 小倉 紀雄 氏	
サロン	テーマ	話をする人
3月13日(木) (第1週) 14:00～16:10	A. 裁判員制度ーもしもあなたやご家族が選ばれたらー B. 懐かしい名歌手による女学生愛唱歌 C. 日本の神々の原郷対馬 D. ジプシーの謎を追って	山岡 光 平原 俊彦 荒 正勝 土井 俊雄
3月27日(木) (第2週) 14:00～16:10	A. 上杉鷹山の師・細井平州から学ぶ教育の原点 B. “この道はいつかきた道” 映像で見るふるさとの道 C. 八王子の庚申信仰・庚申塔 D. からだを動かして健康になろう	吉田 信夫 立川富美代 増田 由明 山元 哲夫
4月10日(木) (第3週) 14:00～16:10	A. 激動する中国を視る B. 経済の動きと私たちの暮らし C. あなたも絵手紙描いてみませんか D. 日本人に刻まれた あの短歌、あの人物	渋谷 文雄 佐々木研吾 池田ときえ 堀口 進
4月24日(木) (第4週) 14:00～16:10	A. 八王子が育んだ偉大な禅僧 鈴木正三について B. パソコンと親しむデジカメ講座(会場 サイエンスドーム こども科学館)撮影会:吉野梅郷、国立昭和記念公園 C. 原子力はいま D. 南米回想ー技術協力、日系人社会とのふれあい、自然と暮らしー	大野聖二/近藤泰雲 吉田 宗昭 佐々木 正 橋本 鋼二
野外サロン 5月8日(木) 7:45～18:00	“歴史と文化の香るまち” 足利名所めぐり 栗田美術館～足利学校～鏝阿寺	
閉講式 5月22日(木) 14:30～19:00	14:30～15:00 閉講式 15:00～17:00 特別講話「日本にオペラがやって来た日！」 講師 日本オペレッタ協会 指揮者 角 岳史 氏 ソプラノ 針生美智子 ピアノ伴奏 畑野かん奈 7:00～19:00 「さよならパーティ」 『みんなのWAを楽しみませんか』(希望者実費負担)	

開講式

日 時：平成20年2月28日 13:30～16:30

会 場：八王子エルシィ

出席者：サロン会員 40 名 プロバス会員 54 名

来 賓：八王子市長 黒須隆一氏

東京八王子南ロータリークラブ会長

清水宣彦氏

NPO 法人八王子市民活動協議会理事長 石井利一氏

『みずとみどり研究会』代表 小倉紀雄氏

デジカメ講座 講師 吉田宗昭氏



開講式は、地域奉仕委員会阿部和也委員長の司会で定刻に開会した。

はじめに宮崎浩平会長より「私達の生涯学習サロンも12回目を迎えることが出来ました。これも偏に皆様方の弛みないご支援の賜とクラブ全員、心より感謝致しております。今回も皆様に喜んで頂けるよう、魅力のある講座を準備させて頂きましたので宜しくお願い致します。私達プロバスクラブの本年度の基本方針として、テーマを『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』としております。」との挨拶があった。

つづいて、黒須八王子市長より「開講式おめでとうございます。また、本市の“いちよう祭り”また“市民健康の日”のイベントにもご協力頂き誠にありがとうございます。私はカリキュラムを拝見しておったのですが、歴史をはじめ 文化・健康・科学と多岐にわたっておる訳で、私も時間があつたら是非聴かせて頂きたい魅力的なテーマばかりだと思います。是非機会がありましたら学校の総合的な学習の時間等にも、八王子の歴史や文化を子供たちに伝えて頂く、そんな役割も是非お願いさせて頂ければ良いと思っております。きょうは、小倉先生の『浅川の自然環境』というお話ですが、この貴重な財産をこれから皆様共々大切にして頂ければ、そんな思いでございます。これからますます東京八王子プロバスクラブがご発展されますことを心からご祈念申し上げます。」との祝辞を頂戴した。

清水八王子南ロータリークラブ会長より、お祝いの言葉と、ロータリークラブとプロバスクラブとの奉仕の違い、ロータリーは「インターンシップ」(高校生を事業主が預かり、社会に出すためにいろいろな経験を、会社、事業を通じて経験させる)、「アウトリーチ事業」(市内20校の小中学校を対象として、音楽を配布しようと、チェロ・ピアノ・バイオリンの音楽家を2名ないし3名の派遣をする事業)。一方プロバスクラブの方は、『学ぼう 豊かな社会経験、語ろう ライフワークと趣味、広げよう 知り合いと知識を』を生涯学習サロンの開講のスローガンにして、知識の奉仕を市民に対して行っている。また、「私はぜひプロバスの人たちをお願いしたいのは、その様な方々を如何に地域同化させていくか、これからも考えて欲しいと思います。」との挨拶があった。

引き続き司会の阿部委員長より NPO 法人八王子市民活動協議会理事長石井利一氏、『みずとみどり研究会』代表小倉紀雄氏、デジカメ講座講師吉田宗昭氏の各ご来賓の紹介があり、開講式を終了した。

コーヒーブレイクの後、多村繁樹地域奉仕委員の司会により、サロン各講座の話し手の紹介があり、各話し手より講話内容の簡単な紹介があったのち、特別講話を開始した。

(記録：長谷川貴訓)

講師：理学博士 小倉 紀雄

司会：会 員 阿部 和也



講師紹介：1940 年東京都生まれ。 東京都立大学大学院 理学研究科博士過程修了。同大学助手、東京農工大学助教授、教授を経て 1999 年 4 月より東京農工大学大学院農学研究科教授。現在、同大名誉教授。みずとみどり研究会、浅川流域市民フォーラム、浅川潤徳水辺の楽校、水と緑の日野・市民ネットワーク等の代表。主な著書に「調べる・身近な水」、「調べる・身近な環境」、「水質調査法」「環境化学」ほか多数。

・ 水の特異的な性質

水は水蒸気→雲→雨→陸と循環をしています。今、地球温暖化等の環境問題が身近の問題としてクローズアップされていますが、水をはじめいろいろな物質の循環のバランスが崩れるために所謂、環境問題が起ってきます。水の循環の役割を担うのに、一つは森林、みどりの役割が重要なものとなっています。その森林を伐採してしまうと大雨が降れば一気に川に水が流れてしまう。土砂が流れてしまう。雨が降らないと渇水になったりします。もうひとつ水の循環のバランスを崩す原因としては都市が出現することです。都市の出現・森林の伐採によって水の循環のバランスが崩れてしまいますので、出来るだけ私達は、水の循環を平常に保つ心がけが必要です。

小金井・国分寺・八王子・日野で雨水浸透ますの設置が進めています。水をゆっくり循環させる浸透ますは、都市化が進む中では循環のバランスを元に戻す重要な役割を担っています。

・ 水の汚れの問題

水の汚れには、色々な原因があります。雨そのものにも、酸性雨ということで、汚れの原因の一つになっています。それから、林地・森・畑等人間の活動域には肥料による汚染流出もあり、汚れの原因となります。畜産・水田・工場・住宅等の汚れが下水処理場を通して河川に流れ込みます。それが海に到達します。それを防ぐにはどうしたら良いのでしょうか。一人あたり、一日約 200ℓの水を使っていますが、意外と台所からの雑排水が多いことがわかります。その意味で、三角コーナーを使って固形物を直接流さないことや、天ぷら油を流さないこと、もう一つは、自然の力を使うことです。「三尺流れれば水清し」といわれるように川が持っている浄化作用（自浄作用）を有効に利用することです。八王子市でも自然を活かした川づくりが行われています。下水道の整備や雑排水対策・自然を活かした川づくり、そういうことを考えて水をきれいにすることが大切だと思います。

『浅川の自然環境のいまとむかし』

1. はじめに： 浅川とのつきあい

東京農工大に移ってから、南浅川で学生達と調査・研究を学生諸君と共に開始しました。この川の源流は小仏峠です。大学は府中にありましたので、車を使えば 1 時間少しで行け、また下流は浅川との合流点と気楽に行けるということで大変便利でした。上流はきれいで途中に団地等が出来て次第に汚れていくという様子、ちょうど多摩川を縮小したような川が南浅川だった訳です。そこで 1975 年から調査を開始しました。その間、市民活動グループ「みずとみどり研究会」、「浅川流域市民フォーラム」に入りまして、市民の立場から川を見つめていこうと川を監視して 30 年ほど付き合いをさせていただいております。

2. 浅川流域における自然と人間活動

・浅川流域面積は 156k m²あり、その内の 92%が八王子であり、日野市は下流の 8%しかありません。従って、浅川を考えると八王子市が非常に重要な役割を持っているといえます。

・流域の人口推移 開発が進めば当然流域人口も増加し、八王子市で 55.2 万人、日野市では 17.5 万人とな

っております。

・**市街地面積の変遷** 1927 年ごろには市街地面積が 5%であったのが、1993 年には 42%に増加し、今は 50% 近くにまで増加しているのではないかと思います。

・**浅川流域の河川の状況** 浅川には現在 16 の支川があり、以前は汚れていた城山川・川口川・湯殿川も次第にきれいになってきました。それは下水道の普及によるところが多いと思います。ただ、川の水の量が減っているのが問題です。水はきれいだが水が少ない。八王子市長さんの働きで、なんとか浅川の水の量を増やそうと、雨水浸透ますをつける事を行っています。出来るだけ雨をゆっくり浸透させて、湧水の水量・河川の水量を増やすということが今後の都市河川の重要な課題になっていくと思います。浅川の浸透水が日野の湧水の一因になっているともいわれていますので、流域全体として一体となって考えていく必要があると思います。八王子・日野それぞれが行政計画、それに環境市民会議等が一緒になって活動しその成果が着実に上がってきているのではないかと思います。

3. 浅川流域における市民活動とその発展

1975 年から専門的な水質測定を始めましたが、その中で市民と一緒にやってやるのが、いかに大切であるかを、ある市民グループから教わりました。ある新聞に主婦のグループが自ら浅川地区の環境を守る婦人の会を立ち上げ、合成洗剤をやめて石鹼を使おうという石鹼運動を始める記事が掲載されました。そこで、このグループとコンタクトを取り、私は、合成洗剤だけが汚れの原因ではなく生活雑排水そのものが大きな原因であることを言いましたところ。アンケート調査をしたりして、川の汚れは生活雑排水であることを突き止めました。八王子で始まった主婦のグループの水質調査が、今度は日野市に広がり、国立市他も参加し広い地域まで発展し、「市民による浅川調査連絡会」が 1989 年結成されました。2004 年になりますと、全国の身近な川の一斉調査ということで、我々の研究会・市民グループ・国土交通省・財団法人の河川環境管理団体が連携して、「身近な水環境の全国一斉調査」を始めてみようということになりました。八王子の南浅川での主婦による活動がこうして、全国にまで普及してきたということは八王子の誇りだと思います。南浅川の側溝から始まり、浅川地区環境を守る婦人の会から始まったその活動は、水質測定の全国ネットワークと木炭による浄化の二つの点で広がったと思います。

4. これからの浅川・望ましい川とは

一つは泳げる、飲めるが一番良いのですが、なかなかそこまでは行きませんので、まずは泳げる、遊べるだと思います。浅川の急流部分では護岸整備は必要ですが、その中でも自然が残っている川を残していくことが大切です。豊かな水量・良好な水質・多様な生き物が生息し人と生き物と川の共生環境がうまくいく川・優れた景観の川の 4 つの条件が浅川に出来れば非常に良いことだと思います。こういう水環境を我々の世代だけでなく次世代を担う子供達にも引き継いでもらいたいと思っています。

質疑応答

Q：行政が改修するときに、川の底をなだらかにするような計画があるかどうかお聞きしたい。

A：国の大方針として魚の住みやすい川、自然の川づくりを進めていますので、やがて地方行政にも考えていくようになると思います。

Q：湧水や雨水浸透ますの話をされましたが、今後、南浅川の水量は期待してよろしいのでしょうか。

A：平常時でも水が流れるようにしていくため、これからは、針葉樹だけでなく落葉広葉樹林も増やしていく森づくりが、非常に重要な課題であると思います。なかなかすぐに解決策が出来ないのが、悩みで、いつも悩んでいる問題です。

Q：想像ですが、高尾周辺に工場が幾つかありますが、あそこで、工場用水として吸い上げてしまったのが、南多摩高校や・船森幼稚園の所の清水が濁れた原因ではないかと思いますがどうでしょうか。

A：ありうると思います。都心では用水の規制が厳しくなったので、地下水の水位が上がり、駅が浮いてきたといわれています。従って、深層の地下水でも大量に組み上げれば湧水にも影響してくると思います。ですから、地下水は、浅いのも深いのも一体となって考えていくことが大切だと思います。

(記録：長谷川貴訓)

裁判員制度—もしもあなたやご家族が選ばれたら—



話をする人：山岡 光

司 会 者：杉山 友一

話をする人：東京地方検察庁八王子支部 公判担当
統括捜査官

- 前半一時間は、法務省製作の映画「裁判員制度＝もしもあなたが選ばれたら」を観て頂きます。
- 後半一時間は、配布の参考資料を活用します。

● 裁判員制度誕生の背景事情

昭和20年、戦後生まれた民主国家日本の統治の根本は「立法」・「行政」・「司法」の三権分立であった。そしてその後半世紀以上に亘る長い歴史の中で「立法」・「行政」は時代の変化に応じて改革改変＜例えば選挙制度（立法）・オンブズマン制度（行政）の採用など＞が加えられ、充分であったかどうかは別として、国民の意思が反映される仕組みでありえたといえる。これに反して、「司法」は国民の側にも「裁くのはお上」（官尊民卑）との認識が根強く長らく関心の外にあり、司法制度改革への国民世論は一向に高まってこなかった。他方、裁判が一般国民には分かり難く、また、時間がかかりすぎるなど明らかに制度疲労をきたしているとの批判もあった。国民が裁判に参加する制度は、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアなど世界の国々で広く行なわれているものであるが、わが国でも漸く、政府の司法制度改革審議会の意見書（2001年）を契機として、「国民の司法への参加」という大手術の方向性が確定し、その後様々な準備期間を経て今日に至っている。

● 司法制度改革三つの柱

①国民の期待に応える司法制度の構築→法テラス（日本司法支援センターの別称）

（TEL0570-078374）（土曜日でもオープン）

（司法の世界におけるいわゆる「無医村」の解消）

②法律家の在り方の改革→法科大学院（ロースクール）

（法律家の絶対数の不足解消）

③国民の司法（裁判）への参加→裁判員制度＝国民主権からの当然の帰結。

制度の根幹は＝裁判員の仕事内容は、裁判員と裁判官との「協働」であること。

裁判官と一般人との感覚の乖離を埋める狙い。

＊検察審査会の実績　＝11人の検察審査員が一般国民を代表して不起訴処分事件の適否を審査。
これまでに検察審査員または補充員として選ばれた人は延べ51万人に及ぶ。

＊陪審員制度＝日本にもかつて「陪審員制度」があった。昭和3年～18年のことである。しかし、時代背景、国民感情、制度の不備などが重なり制度として成長することはなかった。

● 裁判員裁判は、第一審のみ

日本の裁判制度は三審制であり、地方裁判所（簡裁・家裁）の判決に対する控訴を受けて、高等裁判所の二審が行われ、更に上告がなされた時に最高裁判所の三審が行われる。

この制度のなかで、裁判員裁判は重大な刑事事件（原始的な犯罪といわれるもの）の第一審（地裁＋支部）のみで行われる制度である。

（注）、全国203支部（地裁と同等）のうち、裁判員裁判を行うのは最高裁判所規則に定める10支部である。なお、八王子支部は当然該当支部である。

● 裁判の二大要素

- ① 「事実認定」＝裁判員と裁判官が、それぞれ個々の経験・常識により判断することが基本となる。
「事実認定」とは証拠上認定できる事実をいうのであって、「真実」とは別物である。
- ② 「法 解 釈（量刑）」＝裁判員も量刑を決定するため、制度の運用に遺漏のないように、最高裁判所は過去の判例などをベースに裁判員向けの量刑資料（データベース）を作成中である。
また、評議は、原則は全員一致であるが、やむを得ず多数決となった場合、裁判官と裁判員の間に、被告人に殊更不利益となるような判断のズレが生じた場合などの取り扱いについては、既に別途手順が確立されている。

● 裁判員裁判のための新たなシステムの導入

- ① 「公判前整理手続」として、被告人（弁護人）・裁判官・検察官の三者での合意の部分は改めて法廷で争わない。争点を絞り込み、併せて公判期日（日程）を決める。
- ② 公判は連日開廷し集中審理（一日8時間を目途）を行い、最長でも5日程度で結審する見込み。

● 裁判員の選ばれ方（東京では270人～540人に一人の割合との試算がなされている）

- ① 年1回、裁判所からの依頼を受けて、市町村の選挙管理委員会が「くじ」で（自分から立候補は出来ない）「裁判員候補者名簿」を作成する。
→各地裁から名簿登載者全員に向けて、「候補者名簿」に登載された旨の通知を出す。その際「調査票」が同封されるので、辞退事由のある人はその旨を回答し、認められれば候補者から外れる。
- ② 個々の事件の公判の概ね6週間前に、地裁が名簿登載者から、再び「くじ」で選んだ人（30人程度）宛てに「呼出状」（選任手続き期日のお知らせ）と質問票が送付される。
- ③ 質問票に基づいて辞退が認められた人は呼び出しを取り消されるが、それ以外の選ばれた人たちは、求めに応じて裁判所に出向き、裁判長から口頭質問を受ける。その段階で裁判員になれない人や、改めて辞退が認められた人たちを除き、最後の「くじ」が行なわれ6名の裁判員と若干の補充裁判員が決まる。
なおこの際、立会いの検察官と弁護人は、それぞれ理由を付さずに、4名を限度に不選任の請求ができる。この第三段階は原則として、午前中面接、午後裁判の開廷という日程となる見込みである。なお、裁判員の名前や住所などは、公にしてはならないし、開示の対象となる書類に署名したり押印したりすることはない。裁判員に選ばれた者の身分は期間中「みなし公務員」である。

● まとめ

最後に、ビデオ映画のなかで、中村雅俊扮する裁判長が話していた言葉を復唱して本制度の解説を終わりたいと思います。「この社会に、何一つ他人事は無い。犯罪は私たちの住む社会の中で日々現実起きてるのであり、ある日突然誰かが被害者になって、誰かが加害者になる。同じ社会に生きる人間として、一人一人が問題を共有して考えようという意識を作り上げること、それが裁判員制度の意義である。無関心こそ 最大の罪である。」

<参考資料のインデックス>

- Q1 裁判員制度はなぜ導入される？ ● Q2 裁判員が参加する事件の種類 ● Q3 裁判員はどのようにして選ぶのか？ ● Q4 裁判員の仕事「公判出席（公開）・評議、評決(非公開)・判決宣告（公開） ● Q5 裁判員不適格条件「欠格事由・就職禁止事由・事件に関する不適格事由・その他の不適格事由」 ● Q6 裁判員は法律のことを知らなくても大丈夫なのか（判断の前提となる専門的な法律知識については、裁判官から分かりやすく説明されるシステムになっていること） ● Q7 裁判員を辞退出来る事由 ● Q8 裁判員となるために仕事を休むことの処置（裁判員制度に対応した企業における労使の自主的な取り組み期待） ● Q9 裁判員の守秘義務（非公開で行なわれる評議が重要） ● Q10 裁判員になることから受ける恐れのあるトラブルの回避 ● Q11 裁判日程・時間の短縮化 ● Q12 裁判員の日当交通費など ● Q13 裁判員候補者に選ばれる確率。

（記録：杉山 友一）



《懐かしい名歌手による女学生愛唱歌》

話をする人：平原 俊彦

司 会 者：大高 秀夫

話をする人：八王子生まれ、八王子育ち。日本コロムビア（株）に入社、
計画部長、洋楽部長、文芸部長、その後理事、レコード国際
部長等を歴任、平成5年退社。

皆さんこんにちは

昔は「女学生愛唱歌」というジャンルがありまして、その歌集が色々出ていたものです。私の家にも、姉が旧制の出でありましたものですから。そうした歌集が2・3あり家中で良く歌ったものです。それは今で云えば泰西名曲を中心にした抒情歌ともいえるもので、皆が知っている懐かしい歌ばかりです。私の若い友人の音楽プロデューサーがそれらの歌を中心に「あの頃の歌」と題してCD2枚を発売、好評を得たと聴きました。今日は昔の歌手が歌ったそれらの歌を集めて、ご披露したいと存じます。

(1) **三浦環**（明 17－昭 21）旧姓は柴田環。東京音楽学校卒業後同校補助教員。その後渡欧し、ロンドンで「蝶々夫人」でデビューし成功を収め、その後渡米しメトロポリタンで20年間プリマドンナを務めました。いまだかつて日本にはこれだけの人は居ません。当時のニューヨークタイムスはロシアのシャリアピン、バレリーナのアンナ・パヴロアと並んでマダム三浦の「蝶々夫人」は世界で最も優れた芸術であるとしています。では「庭の千草」。この曲はアイルランドの歌で18世紀から歌われていて、ベートーベンやメンデルスゾーンも編曲し、フロトーのオペラ「マルタ」のアリアで有名です。今日お聞かせするものは昭和21年彼女が亡くなる40日前にNHKが録音したもので一種の歴史的録音とも言えるものです。次にお聞かせするのはお馴染みのプッチーニの1904年ミラノ・スカラ座で初演されオペラ「蝶々夫人」から「ある晴れた日に」を聴きましょう。彼女の全盛時代の録音です。

(2) **柳 兼子**（明 25－昭 59）です。民芸運動家・美術評論家であった柳宗悦の奥さんです。ドイツに留学、ベルリンのコンサートで絶賛を博しました。晩年まで活躍されました。では柳兼子の歌うシューベルトの「子守唄」とブラームスの「子守唄」を続けてお聴き下さい。

(3) **柴田秀子**（明 27－昭 55）、旧姓花島といいます。大正5年東京音楽学校を卒業。写真にも有りますように大変な美人でした。当時、同級生に雅楽演奏家で有名な家に生まれた多 忠亮（おおのただすけ）が彼女に求婚をします。そのとき捧げた歌が竹下夢二の作詞した「宵待草」に彼が作曲した曲です。が彼女に振られてしまいます。その曲は最初「待宵草」という名前で発売されました。広辞苑を引くと「待宵草」が本場で「宵待草」はその異称と言うことです。その後昭和7、8年に「宵待草」に直して発売されました。では彼女が歌う「待宵草」をお聴き下さい。彼女は同級生の柴田知常という人と結婚し、柴田秀子になります。

(4) **藤原義江**（明 31－昭 51）英国人の父と琵琶と三味線の巧みな芸者であった母との間に生まれました。奥さんは藤原あきさんです。最初は新国劇に興味を持ち役者になります。そのうちにオペラが気に入って浅草オペラに入り、声が良かったのでスターになりしばらく浅草オペラで活躍していましたが、貿易商のお父さんの遺産でイギリスに渡りまして、歌手として勉強しアメリカ周りで帰ってきました。今日はそのときアメリカで録音した「波浮の港」を聞いていただきます。その後藤原歌劇団を創設し今日ご紹介する人たちも多数藤原歌劇団で活躍しました。波浮の港と言うのは何も無い漁村だったのですが一躍有名になり、レコードも当時15万枚も売れたので新しく「君恋いし」と言う歌が作られました。

(5) **荻野綾子**（明 31－昭 19）旧姓大田。この人は余り有名ではなかったのですが、日本の音楽家のほとんどがドイツで勉強した人が多かった中で、この人は音楽学校を出てパリに行き、長いことパリで勉強をして帰ってきてまして、フランス歌曲の紹介に努めた人です。では「お菓子と娘」西条八十の作詞・橋本国彦作曲で、なかなか洒落たいい歌です。

(6) **田谷力三**（明 31－平 2）浅草オペラの代表的な歌手で晩年までTVなどで活躍し万年青年と言われていました。今日ご紹介するのはオペレッタ「ボッカチオ」の中より極め付き「恋はやさし」です。

この歌は当時女学生達がこのアリアを覚えて盛んに愛唱したそうです。

(7) **奥田良三**（明 36－平 5）東京音楽学校を中退、ローマのサンタ・チェチュエーリア音楽院に学びベルリ

ン音大に移りウィーン国際コンクールで入賞しました。声の良さ、温厚な人柄で大変人気のあった人です。歌は「**城ヶ島の雨**」大正2年島村抱月の依頼で北原白秋が作詞したものです。

(8) **ベルトラメリ能子** (明 36ー昭 48) 東京音楽学校卒業後イタリアに留学。詩人ベルトラメリと結婚し、その声の美しさで評判となりました。夫の死後帰国してイタリア歌曲の紹介や、日伊音楽協会幹事などを務め音楽コンクール審査員として活躍しました。歌はドイツ民謡、マイスター修行のため故郷を離れることを歌った「**故郷を離るる歌**」。大正2年唱歌に採用され、女学生愛唱歌として広く歌われました。

(9) **木下 保** (明 36ー昭 57) ドイツ・イタリアに留学。ドイツ歌曲の権威。オペラ出演。東京混声合唱団ほか数々の指揮に当たりました。歌は「**菩提樹**」シューベルト作曲で訳詞は近藤朔風が有名ですが今日は妹尾幸陽の訳詞で聞いて頂きます。

(10) **下八川圭祐** (明 36ー昭 55) 東洋音楽学校卒。バス、バリトンとしてコンサート、放送などで活躍。藤原歌劇団などでオペラの日本初演に数多く出演。昭和音楽大学学長として学校教育にも従事しました。ムソルグスキー作曲「**蚤の歌**」。シャリアピンの歌で有名です。ゲーテ『**メフィストフェレス**』をロシア語に訳した詞に曲をつけたバス独唱曲です。

(11) **佐藤美子** (明 36ー昭 57) フランス人の父と日本人の母をもち「万年美人の才女」とも「カルメンおよし」とも言われた人で、カルメンとシャンソンを得意とし和服も洋服もよく似合い、義太夫も良くしました。オペラ・カルメンの中から「**ハバネラ**」。伍長ドン・ホセを相手に歌う有名な曲です。

(12) **四家文子** (明 39ー昭 56) 佐藤美子、長門美保などと並ぶ女流声楽家の名手。日本歌曲の紹介に努め、橋本国彦や山田耕作らの作品、童謡の紹介にも努力しました。では「**埴生の宿**」。アメリカの詩人ジョン・ペインの詞に英国人のヘンリー・ビッシュoppが曲をつけたオペラ「**ミラノの娘クラリ**」の中で歌われています。明治22年中等教科書に採用され、女学生達の愛唱歌として広まりました。

(13) **辻 輝子** (明 41ー昭 40) 辻輝子と言えばNHKのラジオ歌謡「**さくら貝の唄**」で大ヒットとなりました。山田耕作夫人。歌は北原白秋作詞、ご主人の山田耕作作曲の「**からたちの花**」。耕作は「自分の曲の中で、この作品ほど日本語を生かした作品は無い」と言っています。

(14) **長門美保** (明 44ー平 6) 藤原歌劇団で活躍した後、独立し長門美保歌劇団を創立。ドボルザークの「**ルサルカ**」日本初演をはじめ意欲的なプログラムを手がけ、海外からも高い評価を受けています。歌はアメリカ人オードウェイが作曲、犬童球溪が作詞「**旅愁**」です。中学教科書に載り、女学生の愛唱歌として歌われました。球溪はほかに「故郷の廃家」の作詞でも有名です。

(15) **松原 操** (明 44ー昭 59) 東京音楽学校在学中から活躍「覆面歌手」としてデビュー。卒業後「ミス・コロムビア」の芸名で「**愛染かつら**」の主題歌「**旅の夜風**」「**一杯のコーヒーから**」「**愛染夜曲**」「**めんない千鳥**」などでヒットし、霧島 昇と結婚しました。今日は「**真白き富士の嶺**」をお聴き下さい。最初は「**七里ガ浜の哀歌**」と題されましたが、歌詞の冒頭の部分からいまの名前となりました。明治43年逗子開成中学の学生12名がボートで遭難し、その追悼式で鎌倉女学校教諭の三角錫子が作詞した曲を同女学校の生徒によって歌われたものです。曲はアメリカの賛美歌です。

(16) **柴田睦陸** (大 2ー昭 63) 東京音楽学校卒。テノール歌手として活躍中出征。戦後勉強し直して芸大にオペラ研究部を創設。さらに二期会を発足させその委員長を務めました。曲は「**箱根八里**」。これは日本古謡の馬子唄を団伊玖磨がまとめたものです。

(17) **加藤芳江(二葉あきこ)** (大 4ー) 東京音楽学校卒。在学中から美声として知られ、本名で日本歌曲を数多く録音しています。後に芸能界に入り、二葉あきことして数多くのヒット曲を残しています。曲は「**荒城の月**」です。

(18) **三枝貴美子** (大 10ー平 12) 武蔵野音大卒。「ヘンゼルとグレーテル」の日本初演で評判となりました。藤原歌劇団の渡米、米国公演に参加。レコード録音も多く、中でも「**嘆きのセレナーデ**」「**スペイン小夜曲**」などが有名。日本歌曲も多く歌っています。では「**嘆きのセレナーデ**」をお聴き下さい。

(19) **大谷冽子** (大 8ー) 武蔵野音大卒。藤原赤劇団を代表するソプラノで「**椿姫**」「**蝶々夫人**」などで評判をとっています。美人で有名です。曲は「**イルパチオ**」アルデッティ作曲。多くのコロラチュラソプラノ歌手が好んで歌う華麗なワルツです。

(20) **内田栄一、久富吉晴、増田晃久** オペラ・オペレッタで活躍の三人を集めました。それでは「**ベアトリ姉ちゃん**」をお聴き下さい。歌劇「**ボッカチオ**」の中での掉尾、雑貨屋・床屋ら三人のおどけ者が傘を手に主役のベアトリチェに呼びかける楽しい歌でエノケンの持ち歌としても有名です。

ウィーン・フォルクス・オーパがこの度来日するに際して「**ボッカチオ**」を演目に入れています。

(記録：八木 啓充)

「日本の神々の原郷対馬」

話をする人：荒 正勝

司 会 者：増田由明



話をする人：八王子育ち。企業人として 43 年間、経済活動一筋に生きてきた。今は歴史を勉強しながら暮す。

1. 古代のヒモロギ（対馬で信仰されている古代の神々の紹介）

・ **タクツタマの神**（天神^{タクツタマ}多久頭魂神社^{サゴ} 佐護）：人里離れた、湊のそばの山裾に、鳥居があって、左右に離れたところに高さ 3 m ぐらいの石積みの塔が対立し、注連縄^{シメナワ}をとところどころ廻らせて、聖域の周囲は崩れかけた石垣で守られています。中央の森に小さな祭壇が石で築かれていて、そこから天道山を拝むのでしょうか。山には山猫やけものたちが、神さまと一緒に潜んでいる。社殿も無い、誰もいない、静寂そのもの。風の音、海の音でしょうか、胸騒ぎがします、恐怖を感じるのです。神威でしょうか。これが古代の^{ヒモロギ}神籬です。**見えない神様を察知する仕掛け**です。

・ **タクツタマの神**とは稜威^{イツタカキ}高貴神霊という意味で、^{カンムスビ}神御魂神の御子神です。天道山は雄嶽、雌嶽の二つの峰に別れ、雄嶽は御子神の天童、雌嶽は母神を祀るという。母神は日光に感精して天童を生み、照日の娘とされ、**アマテル神社**の**照日権現**と同じ**日の神**で、^{タカミムスビ}高御魂の御子神です。また対馬^{アガタノアタイ}県直の祖先神とも云われる。

・ 天童は天道菩薩になり元正天皇のご病気を治した伝説をもつ。でも天道菩薩になる前の古代では、対馬特有の天道で、本質は「**天の神**」であり「**稻魂・穀霊**」でした。「**タク**」の意を探ると、高・嶽・健・武・滝を意味し、その現象形態は**蛇神、雷神、嶽之神**で大自然の神と云うことになる。延喜式神名帳（927 年）に記載。

・ ^{カンムスビ}**神御魂神社**（天道女躰宮、佐護湊）：^{タカミムスビ}**カンムスビ神**はタクツタマ神の親神ムスビ（産霊）の神で、^{タカミムスビ}**高御魂**（天地の造物主）と並び大もとの神さまです。ここに天道の母神の御神躰像があります。静寂のなかで神経が過敏になって、背筋がゾクとして得体の知れない**けはい**を感じました。天道の母神の御神躰像は高さ 25 cm、お腹に日光の象徴である日輪を抱えたお像で、台座の裏に永享十二年(1440 年)と記し、室町時代初期のものだそうです。

・ ^{タクツ}**多久頭魂神社**（下県郡豆酸^{ツツ}）：延喜式神名帳の多久頭神社に比定され、前述の天神^{タクツタマ}多久頭魂神社^{サゴ}（佐護）と並び天道信仰祭祀の中心をなす。境内には造物主とされる親神の^{タカミムスビ}**高御魂神社**があって、佐護の^{カンムスビ}**神御魂神社**と対応する。**ムスビ**の「**ムス**」は産む、「**ビ**」は霊で産霊を意味し、**神霊を産む**意味が秘められて**天地の造物主**です。ムスビは**結ぶ**で、呪術的な意味があり、縁結び、結婚の「**結**」で、産んだ子を「**ムスコ・ムスメ**」と呼ぶのもムスビ（産霊）の意。また握り飯を「**オムスビ**」というが、これも**カミ**（穀霊）を意味する。当社には今でも弥生時代の赤米を耕作し、新穀を俵に詰めて「**魂**」を入れる「**神様づくり**」という神事が残っている。

・ ^{アレ}**阿連の天道**（厳原町阿連）：阿連村に**天神多久頭魂命**を祀る天道の社があって、他に**7ヶ所のシゲ地**と**7ヶ所の瀬が聖地**とされ、第 1 のシゲにのみ粗祠がある。**阿連**は御子神天童の^{アレ}**アレ**（誕れ）が地名に示される。

・ **天神、天神宮、天ノ神**など天道信仰はどここの村にもあったようで、ほとんどの聖地にはヤシロはなく**石**を御神躰

としたり、^{イワクラ}磐座だったり、ただの^{シゲチ}茂地といわれる^{ヒモロギ}ヒモロギだったようで、神様はこのような自然の中にひっそりとかくれています。永留久恵氏はこの祭祀習俗などを調査し、対馬に合計**37ヶ所の聖地**を記録している。

2. 海の中から現れた神（^{ワタツミ}和多都美・^{スミヨシ}住吉の神）

・^{ワタツミ}和多都美神社（豊玉町）^{イソラ}磯良 エベス：^{ヒコホホデミ}ヒコホホデミ（山幸彦）と^{豊玉媛}豊玉媛（海神の娘）が結婚。ウガヤフキアエズ（神武天皇の父）の誕生。神社前の渚には、表面に鱗状の亀裂のある岩があって注連縄で囲っている。これは御子神「^{磯良}磯良」で、社殿が営まれる以前から祭祀の^{イワクラ}磐座と云われています。社殿裏の^{豊玉媛}豊玉媛の墳墓も^{イワクラ}磐座。^{ヒコホホデミ}尊は小舟に乗り^{イロコ}魚鱗の宮の当社に着た伝承は、^{豊玉媛}豊玉媛の身体には^{イロコ}魚鱗が付いていたのでしょうか。

・書紀：イザナギ尊が橘の^{アワキハラ}アワキハラで^{ミソギ}禊をした時に生まれた神、イ）^{ソコツツオ}底筒男命、^{ナカツツオ}中筒男命、^{ウワツツオ}上筒男命は^{スミノエ}住吉大神。ロ）^{ソコツツオ}底津少童命、^{ナカツツオ}中津少童命、^{ウワツツオ}上津少童命は^{アズミノムラジ}阿曇連が祀る神とあります。

・^{住吉大神}住吉大神（美津島町鶏知）：応神天皇の母、神功皇后の軍船を守護したことで航海の神になりました。ロ）の^{ワタツミ}少童は、^{イソラ}阿曇氏の祖、^{磯良}磯良として伝わり、福岡の^{志賀海神社}志賀海神社の祠官の姓は阿曇姓、対馬和多都美の宮司も本姓は阿曇氏という。対馬には^{磯良}磯良が海中で^{ワタツミ}大海祇を祀り、荒れ狂う海を鎮める伝承があって、海中を自由に泳ぎ廻る^{磯良}磯良は蛇神でしょう。^{和多都美神社}和多都美神社は^{鱗状の磐}鱗状の磐を^{磯良エベス}磯良エベスとして祀っています。^{豊玉媛}豊玉媛もウガヤフキアエズを産むときには、^{ワニ}蛇神（大鰐、古事記）になっています。^{ワタツミ}ワタツミの^ミミは蛇の意味で、また住吉の^{ツツ男}ツツ男の神の^{ツツ}ツツも、深海の恐ろしい神、^{海蛇}海蛇という説（谷川健一）があります。

・^{海神神社}海神神社（峰町木坂）：在来の^{和多都美}和多都美の御子神と母神が^{応神天皇}応神天皇と^{神功皇后}神功皇后という祭祀形式の同型ゆえに、^{八幡神社}八幡神社（八幡大菩薩）とされていたが明治4年、海神神社と改称した。対馬一の宮。地元^{木坂に産屋の遺風}木坂に産屋の遺風あり、これは^{南方系海洋民族の習俗}南方系海洋民族の習俗で^{倭の水人の習俗}倭の水人の習俗という。

3. アマテル神と亀トの神

・^{アマテル神社}アマテル神社（小船越）：延喜式神名帳、三代実録にアマテル神社と載る。^{アマノヒノミタマ}祭神 天 日 神。^{クジホンギ}旧事本紀に「天の日神。対馬 ^{アガタノアタイ} 直 らの祖」。両部神道時代には^{オヤ}照日権現と呼ぶ。別名照日の神・オヒデリサマ・日照りの神・天照る神。アマテルは別名からも古代の太陽神に間違いありません。**天照大神のルーツ**でしょうか。

・^{阿連の雷命神社}阿連の雷命神社、「延喜式」所載。^{ウラベ}対馬ト部の祖神雷大臣を祀る。神主は橘氏、^{キボク}亀トの名家。朝廷の神祇官に^{ジンギ}出仕、中臣氏の配下となり、新選姓氏録に「津島直は^{アメノコヤネ}天児屋根命十四世孫の雷大臣命後裔」と記す。

・^{太祝詞神社}太祝詞神社（美津島町加志）：延喜式「祭神^{フトノリト}太詔戸命。^{クシマチ}久滋麻知命」。古代中国の王朝は天帝（日神）、岳神（雷神）、河伯（竜神）を祀り、王は呪術者・最高の神主で、巫師は神を迎え、ト師は骨ト亀トにより天帝に豊作を祈願した。この祭祀が朝鮮経由で対馬、壱岐に渡来した。また大和朝廷に神祇官が設置されると、対馬から10人、壱岐から5人、伊豆から5人のト部が出仕した。豆酸では明治4年まで亀トを継承。

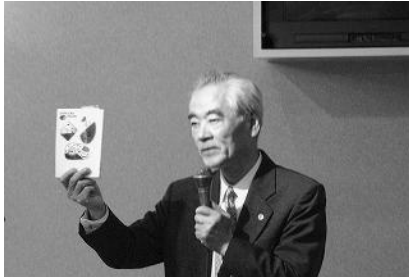
（文献：永留久恵、「海神と天神」白水社。1988年）

（記録：荒 正勝）

「ジプシーの謎を追って」

話をする人：土井 俊雄

司 会 者：長谷川貴訓



話をする人：昭和 35 年教科書出版社（株）帝国書院入社、主として高校社会科全科目を専門に高校への普及活動従事。昭和 45 年リコー教育機器（株）に転職、学校等へ教育機器の普及につとめる。平成 10 年退職。
趣味：音楽・映画鑑賞、読書（歴史関係、文明論など）

1、「ジプシーの謎を追って」を選んだ理由

書棚の片隅にジプシーの謎を追ってという本があり、斜め読みしたところ大変面白い。それでは自分ひとりの楽しみにせず、機会があったら話をしてみたいと思うようになりました。またこの話を気軽に聞いていただいた方が、お仲間との話題の一つとして座を盛り上げていただければ楽しいと思ったのです。著者の木内信敬氏も、この本のまえがき・あとがきで述べておりますようにこの本は、中・高校生に読んでいただき、少数民族であるジプシーの歴史や行く先々で差別や迫害を受けてきた現状を理解し、日本にもやってくる外国人労働者、研究者、学生などを暖かく迎え入れる素地をつくるためにも、彼らの文化、風習、生活身上、を理解することが、国際化社会に対応する道とっております。

2、ジプシーという名はどうして生まれたのでしょうか

西暦 1500 年ごろヨーロッパにやってきたジプシーは、自分たちをイージプシャン「エジプト人」と称していたのですが、イージプシャンのイーがとれ語尾がなまってジプシーとなった。尚ジプシー以外の呼び名としてヨーロッパ各地で呼ばれているのに、ロマニー、チゴイネル、ボヘミアン、ジタン、アチンガーニ（異教徒）等があります。

3、ジプシーの発祥地は

ジプシーがいつ頃、どこから来たのかヨーロッパの人たちは皆目わかりませんでした。研究者たちにより西暦 1000 年ごろインドのパンジャブ地方から 500 年かけてヨーロッパに入ったということが判ってきました。そのきっかけは、ドイツの言語学者グレルマンによるジプシーのロマ語とインド古語が非常に似ているという事からでした。当時オランダは、インド貿易による東インド会社設立等があり、オランダ・ライデン大学のインド留学生の言葉とジプシーの言葉が非常に似ているという事がヒントになりました。

4、ジプシーがどこへ行っても嫌われ、差別や迫害を受けたのは

彼らは、インドを出て中東を経て 500 年の歳月をかけヨーロッパにたどり着くのですが、もともと遊牧の民であったことから馬や徒歩、馬車、トレーラー（キャンピングカー）と移動手段を替えながらも定住することはなく、また土地や建物・公園等私有物や公共物に所有者があることすら感覚がなく、また広場や空き地を汚れ放題汚し、なんとも思わない態度、それはとりもなおさず彼らの習慣であり、文化でもあったのです。ヨーロッパ、ソ連、北・南米に入っていくとそれら既存の秩序、制度、法律、文化、習慣と敵対する生活をするようになった。ヨーロッパでも彼らの生活を無視できなくなり 1968 年イギリスでキャラバンサイト法ができたがジプシーの世界観（浄・不浄の観念・死生観・時間に縛られない）といった生き方の前では殆ど無力であった。

このようなジプシーの世界観がヨーロッパやソ連、北南米の人々とあまりにかけ離れていたために①ジプシーとわかれば死刑（エリザベス一世の時代）、民族浄化を理由にナチスドイツによる大量虐殺や生体実験③スペイン・ポルトガルによる南北アメリカへの追放④ソ連やチェコスロバキアによるイデオロギー迫害⑤ジプシーの嫌う定住生活の強要 ①～⑤のような差別迫害があったが彼らは抵抗することをしなかった。

5、ジプシーの公民権運動

ジプシーと呼ばれる民族グループが西ヨーロッパに入ってから 500 年余りの間、周辺の社会の動きに適当にあわせながらも、自分たちの民族としてのアイデンティティを何とか守り続けてきた有様は、4、で述べたとおりですがジプシーは、ゴールジョ（ジプシー圏外の人たち）の社会に対して自己主張せず相手を刺激せず自分たちの生き方を本質的に変えない範囲で、ひたすら受動的に身を処してきたといつてよいでしょう。しかしアメリカにおける黒人の公民権運動とともにジプシーの公民権運動も少しずつ盛り上がってきました。①グラタン・パクソン氏による組織運動②世界ジプシー連盟（名誉会長 ユル・ブリunner）などこれらの運動はジプシーのみによる（外部の人間の応援なしによる）運動を標榜している。

6、ジプシーのアイデンティティ

ジプシーの人口は、古い統計になりますが、1975 年現在①ユーゴスラビア 746 千人、②ルーマニア 661 千人③スペイン 661 千人④ハンガリー 588 千人⑤ソ連 478 千人 以下東欧、西欧と続く。

ジプシーのジプシーたる所以

イギリスの女性学者オークリーによると①ジプシーの中にいるためには、少なくともジプシーの親を一人は持っていないてはならない②遊牧性、自営、衣服、言葉、生活儀礼、を身につけ生得権を強化しながら死ぬまでジプシーの一員であり続けることである、といっている。

7、ジプシーに対する疑問

今までお話をさせていただいた中で自分自身でも良くわからない事が多々あります。多分皆様も同じような疑問をお持ちではないかと思います。つまり彼らの行動パターンや外見上の姿、生活上の身過ぎ世過ぎの方法という文化についてはある程度わかるような気がしますが、本質的なことについては何もわからず仕舞いであるような気がいたします。つまり

- 1、なぜ彼らは定住することを嫌がるのか。
- 2、なぜ、生活の基盤である、市民権はじめ生活権を得ようとししないのか。
- 3、なぜ雇われた先で、定期的に賃金をもらったり、生活の安定を求めないのか。（彼らの仕事と職業に一貫している考え方、やりたいときにやり、止めたくなったらやめる、という図式。
- 4、清浄と不浄の観念（キャラバン内は清浄域、外は不浄域だから汚し放題でも平気）馬は清浄、猫とイヌは不浄とか死は最大の穢れ、女性の生理と出産は穢れとして忌み嫌われるなど。
- 5、ジプシーのミュロ信仰による、出産の穢れは、都合よく入院した病院に捨ててくる。葬儀はつてを頼んで教会に埋葬し穢れを教会に預け、莫大な量の花束や生前に持っていたもの椅子やベッドまで墓地に持ち込みミュロが娑婆に 出てこないようにすることなどなど。

およそ、現代の教育や生活習慣に慣らされた私たちには、まことにわかりにくい内容です。このことにつき、いつかまたお話する機会がございましたら、と考えております。

（記録者：土井 俊雄）

上杉鷹山の師・細井平洲から学ぶ教育の原点

話をする人：吉田 信夫

司 会 者：堀口 進



話をする人：山形県米沢市出身 学校卒業後東芝に入社 計測事業部にて産業
コンピューターシステム、医療機器事業部でCTスキヤナの仕事に
従事、CT事業責任者の職を務めました。また自身戊辰戦争で戦死
した先祖を家系にもち、藩校出身で上杉藩の精神を引き継ぎ上杉鷹
山、細井平洲の研究に興味を持っている。

細井平洲は、上杉鷹山の師として知られ、その信頼に満ちた師弟関係の情景は、戦前の尋常小学校修身教科書(昭和11年発行)に掲載されています。上杉治憲(後の鷹山)は14歳の時から、細井平洲に学問を学び、深くその影響を受け、困窮した米沢藩の財政を立て直し、二人の師弟関係は平洲が没するまで続きました。

○ 細井平洲略歴

細井平洲は、江戸後期の儒学者で尾張国(愛知県東海市)の豪農の子。10歳で経史百家を学び、16歳の時、京都に出て折衷学を学び、17歳の時、名古屋で中西淡淵に師事、更に長崎遊学の後、江戸に家塾嚶鳴館を開き師弟を教育しました。学派や経書字句にこだわらず、徳行・人倫の合一を重視した学風を採りいれました。米沢侯上杉鷹山に招かれ藩校興譲館をおこし士気を振興し、また尾張侯の待講となり藩校明倫堂督学となりました。

それでは、表題に従い「上杉鷹山の師・細井平洲から学ぶ教育の原点」についてお話致します。まず最初に上杉鷹山ですが私のおばあちゃん(明治生まれ)などは鷹山公と尊敬をこめて呼んでいました。今回このサロンにお集まり下さった皆様の大方の人は上杉鷹山についてはご存知のことと存じますが、細井平洲の人となりについてはご存じのない方も多いのではないかと思います。ましてや教育の原点と言うテーマが、難しい事を言うのではないかと或いはご心配の向きもあるかと思います。

江戸初期の儒学者、細井平洲は「師を敬う事が教育の基本である」といっております。私も全く同感です。現在では教育と言えば学校教育が中心ですが、江戸時代には私塾が重要な教育機関で、儒学者が、任意に開設し、殿様や藩士、一般庶民を教育しました。

1764年(明和元年) 平洲、治憲(14歳)の賓師となり、生涯師弟愛と呼ぶのがふさわしいと思います。

○ 鷹山の幼少時代

鷹山は、高鍋藩主秋月種美の次男として生まれ、幼名を松三郎、あるいは直松とも呼ばれた。子供の頃から優れた才能と孝心の持ち主として、評判だった。

○ 鷹山の少年時代

鷹山は、10歳で、上杉家の養子になり、治憲と改名する。
この時期、藁科松伯から、人格や思想形成に、大きな影響を受けた。

○ 君徳とは

君主としてそなえるべき徳 (平洲が治憲に教える)

- ① 民の父母たることを露の間も忘れてはならない。しかも君主たる事は天から与えられた職分なのである。君主の地位と富に奢ってはならない
- ② いかなる時も、自分の費用を儉約しても、家臣と人民の生活を豊かにせよ
- ③ まっすぐで飾り気のない家臣を親しく用い、真心からの諫目を歓迎する。うわべを飾り、媚びる家臣を遠ざけ、へつらいの言葉を退ける
- ④ 先祖の業績を大切にし、子孫の繁栄を図る。老人を尊敬し、子供を大切にする。父母兄弟を敬う人を

賞め、一人ぼっちのものに援けの手をさしのべる

⑤ 大勢の役人個々の能力を掌握し、小さな過失は許し、業務を成し遂げたものは、更にはげます

⑥ 領内の風俗について、君主は責任を負わねばならぬ

⑦ 君徳とは民の父母たることであり、君徳を更に磨くために、儒教の古典を学ぶ事が、最初第一の美德である

○ 治憲が藩主になった時の決意

治憲 17 歳の時、上杉九代当主となる(1767 年 4 月)

受けつぎて国の司の身となれば 忘るまじきは民の父母

米沢藩 15 万石 (関が原の戦いに敗れ更に世継ぎのない事もあり 15 万石となる)

誓詞奉納 治憲 米沢の春日神社に誓詞奉納

米沢の白子神社に大俣の誓詞奉納

興譲館 米沢藩の藩校。矢尾板三印が創設 上杉鷹山が再興、細井平洲の進言により命名。

興譲とは、譲をおこすとよみ、譲を興すとは恭遜の道を修行させること也

(生員一箇条) 興譲館の生員(学生)の心構えをしめしたもの

第一条 師長の教えにしたがふより外はなし。されば別に心得を論ずるに及ばず。

○ 平洲 三回の米沢下向

第一回目 1769 年(明和 6) 治憲 19 歳の時

江戸から初めて領国米沢に入るにあたり、平洲は治憲を激励した。

第二回目 1776 年(安永 5) 興譲館を建設、学館建設に当たり、平洲は「建学大意」という意見書をまとめ「興譲館学則」を設けた。

第三回目 1796 年(寛政 8) 平洲 69 歳 平洲は、8 月門人や、上杉家家臣等と

共に、江戸を出立、9 月 6 日米沢郊外の関根普門院にて、鷹山の出迎えを受ける。この第三回の米沢下向は、鷹山・平洲の最後の対面であった。しかし

その後も、教えを乞い、指導する関係は続いた。

○ 敬師の心があって初めて教育が成り立つ

① 人を教える師は、聖人(孔子)の教えを取り次ぐ役目であり、師の言葉は、そのまま聖人の教えである。

② 「申せ」「聞いてやろう」と言う態度では、何を聞いても、身に入らず無益である。

③ 天子にものを教え申す時は、臣下と言えど、北面せず。

④ 三奉行が月に一度、講堂に参拝、師に敬意を表し、弟子を励ます。

(師の権威は、社会がそれを重んずる所に成立する)

○ 平洲の教育への考え

○ 人はただ教え方次第なので、教える人を選ぶことが第一である。

○ 学問と思案と実行の三つが揃って始めて学問をしたということになる。

○ 「先施とは、先ず先に施すといつて、つき合う場合は、相手を待たず、先に自分から働きかけることである。」

○ 「学派が何流でも、自分の派閥にとらわれ、自由に物事を考えられず、人をより良い方向へ変えられないならば、それは何の役にも立たない学問である。」

○ 「教育は人それぞれ相応に扱い、何らかの役にたてる」

○ 現在に生きる細井平洲 愛知県東海市

東海市は細井平洲の出身地で、その遺徳を称える多くの政がなされている。

平洲記念館、小中学校の教育、平洲祭、郊迎の里 普門院の椿、など

平洲没後二百年を記念し、平成 12 年、東海市と、米沢市が姉妹都市を提携し、相互の交流を図っている。平洲祭には米沢より多数の参加者が来訪し、交流を深めている。

(記録：阿部 幸子)

“この道はいつかきた道” 映像で見るふるさとの道

話をする人：立川富美代

司 会 者：大高 秀夫



話をする人：服飾デザイン・縫製企画等の会社経営。青少年育成・社会教育団体指導など幅広く活動。最近では国際文化交流事業にも努力。現在、ガールスカウト八王子連合会会長、フィルハーモニー合唱団団長、八王子フィルハーモニー管弦楽団顧問。

立川会員は「八王子で生まれ八王子で育った人にはご自分の“ふるさと”である八王子の貴重な映像を二つ。一つは八王子空襲の後に米兵が 16 ミリで撮影した記録フィルム、二つ目は今日のテーマ“この道はいつかきた道”に相応しいもので八王子の今昔を語る映像 3 編です。皆さんの“ふるさと”はどんなところでしょう。皆さんと“ふるさと”についてお話してみたいと思っています」とテーマについての説明をした。

映像の概略

「焼け跡からの出発」

昭和 20 年 8 月 2 日未明、B29、169 機による 1,400 トン余の焼夷弾投下により、死者 460、負傷者 2,000、罹災世帯 14,000、罹災者 77,000 名（映像のキャプションから）を出した八王子戦災の映像。カメラはみずき通りから市の中心部、国道 20 号、16 号線沿いの被災状況を映す。壊滅的な八日町辺の風景、カメラを向ける米兵に哀しく愛想笑いをする婦人、米兵を避ける子供達やもんぺ姿の女学生、家財を運ぶ牛車やバラックを立てる男達、玉音放送を聞く市民、啞然とする復員兵の表情、庶民の悲しみや痛ましさ。戦争がもたらした様々な姿を映し出す。次の世代に語り継ぐべき 60 年前の記録である。

「赤バス青バスの走る絹の道」

甲州街道と横浜街道の接点として物資や生糸の集散地として栄えた八王子、横浜に通じる道は「絹の道」といわれた。大正初期、まだ珍しかった乗合自動車が走る都市でもあった。大正 5 年八王子駅から高尾山へ参詣客を運ぶために生まれた青バス、大正 12 年に生まれた八王子市街自動車会社、赤バスが多く参詣客や商人の足となって町が成長した。と映像は青梅バス、京王バスの起源を紹介し、大正 12 年には八王子、府中間に玉南電車（京王電鉄の前身）が開通したと語る。昭和 30 年頃には甲州街道の両側約 2 キロにわたる商店街が生まれ当時関東一を誇った、と荒井呉服店会長橋本孝さん。再び元気を取り戻し、風力、ソーラーによる明るい町にしたいと夢を語る。

「今も受けつぐ糸子の精神」

明治の女性教育に功のあった横川糸子氏と学童のために丹下～高月間に私費で道路を開いた村内万助氏（元村内家具社長）の話を軸に、府立第四高女（現南多摩高）に伝わる糸子の教育の理念、八王子商人の心意気を当時の映像を通して紹介。

八王子には既に文政年間に寺子屋が 50 を数えたという。根底には桑、養蚕農家、千人同心の存在が読み書きそろばんの素養を必要としたと語る。いま 21 の大学、11 万人を数える学生を擁する学園都市八王子の基盤は江戸時代に培われたが、現代忘れられつつある八王子の心意気を復活した山車祭りの祭り風景で伝える。

「八王子と東京オリンピック」

昭和 39 年、45 カ国が参加した東京オリンピック。新幹線の開通、高速道路の完成などと国を挙げて発展の機運が盛り上がったが、映像は自転車競技の会場となった八王子の街づくりに一心となって参加する市民の昂揚ぶりを、自転車競技風景に重ねて映し出し、昭和初めの八王子中心部の街並みやのどかな農村風景、知る人も少なくなった八王子競馬や往時の市民の暮らしぶりを紹介する。

“ふるさと”を語ろう

「私の“ふるさと”意識は乙女時代を送った高松にあります。さて皆さんの“ふるさと”についての想いはいかがでしょう？」立川会員の語りかけに受講者がそれぞれの“ふるさと”を語った。

HI さん 勤め先の関係で札幌に住みオペラ活動を手伝った事がある。当初、北海道というだけで北の果てという意識が強かったが良い所だったと思う。

O さん 釧路生まれですが熊本に永く住み、昭和 40 年に八王子に定着しました。熊本は阿蘇や水前寺公園、そのほか良いところが多かった。

- Nさん 八王子生まれの八王子育ちです。10年に小学校に入りました。小門町や八木町、タンポポやペンペン草がはえていました。今は ああ〜そうだよお〜の道がなくなっていましたね。その頃の八王子には人情が生きていましたね。映像で見た四女のお話は懐かしいです。
- Sさん 八王子生まれの八王子育ちです。五小、四中、南多摩高（旧四女）です。通学は流れのある道を通って行ったように思います。戦災は6歳の時で黒焦げの印象でした。水無瀬橋に落ちる火がとても怖かったのですが、花火のように見えたのを思い出します。八王子は旅から帰って来るとホッとする街だと感じます。
- NAさん 生まれは東京の神田ですが花巻に疎開しました。今でもそうですが疎開先でもわりあい友達には恵まれまして、スキーもできるし温泉もあるし、家の生活は苦しかったのですが、良い所だったと思います。私にとって“ふるさと”というのは良い思い出のある所ではないかと思います。一番永く住んだ八王子は中身が無いように思いますね。
- Oさん 生まれたのは明大前ですが湯沢に疎開しました。雪の多い町でしたが、その土地の慣わしを学び、楽しみました。懐かしい思い出があります。
- SIさん 岡山県津山の生まれです。戦争の被害はありませんでした。津山は城下町でしたが、いまでも町並みに城下町の雰囲気は漂う良い所です。
- Syさん 立川さんと同じ神戸生まれで25年いました。6歳のとき京都に疎開しましたが戦後神戸に戻りました。神戸は東西に長く南北は海に山が迫っている狭い所ですが、ふるさとの自慢は六甲山です。900m位の山ですが眺望が素晴らしいんです。特に夜景が素敵です。海は須磨です。海水浴にとっても良い所です。神戸では異人館があります。今も4、50軒残っています。それとお酒で有名な灘ですね。五郷地帯と云われていますが六甲山からのお水でお酒を造っている酒蔵が50余りあります。ふるさとの言葉というのは身についたもののようで普段は出てきませんがふるさとの人との会話では自然とふるさとの言葉になるものですね。
- HAさん 桧原村です。学校も桧原です。20年から八王子に住んでいます。自慢といえば払沢の滝があります。それと神戸岩です。自然に恵まれた良いところでした。
- TAさん 金澤から八王子に移って来ました。先ほど映像をみましたが福井は全くの焼け野原でした。勤めが繊維関係の仕事をしていたので東京に出張してくると八王子、桐生、足利方面によく行きました。今の八王子には繊維産業が残っていないようで少し寂しい気がしています。絹の道も歩いてみようと思っています。
- SIさん 南多摩郡元八王子村四谷の生まれです。貴重な映像を見せていただいて嬉しい思い出でした。恩方の小田野に伯母がいてそこへ疎開しましたが、四谷からお諏訪様の前を通って歩いて行ったように思います。四谷辺の人たちは農家、養蚕、酪農などをしている人が多かったように思います。水道などはまだ無くウチも榎の下湧き水を引いて生活していたようです。甲州街道に市電が走っていました。花電車を見に行ったとき綺麗なので乗せて貰いましたが、花電車は外で見るのが綺麗で良かったと思ったことがありました。
- HIさん 八王子は22年からです。都内を転々として所沢で小学校、女学校は川越でした。入間、豊岡、所沢には士官学校や飛行場があつて入間川で機銃掃射に遭い怖い思いをしました。思いだす道はなぜか線路道です。戦時中の怖い思い出に繋がるのかもしれませんが。先日行く機会がありました。町はすっかり様変わりしていました。八王子を終の棲家になりたいと思っています。
- HAさん 麦畑のあぜ道を通して学校に通いました。先ほど競馬場の映像がありましたが父も競馬場に行っていたような話も聞いたことがあります。競馬場も八王子牧場等もどの辺にあったのか記憶が薄れています。のどかだった八王子が懐かしく思い出されます。
- SIさん 今日疎開の話なども違和感なくお話でき嬉しく思います。私は大田区の生まれですが青森県の三戸に疎開しました。八戸に港がありましたので米軍機はそれを目指して飛んで行きます。空襲警報がなると手を止めてみんなで4号線（国道）に出て空のB29を仰ぎ見たものでした。今日は映像を見て幼い頃の様ざまな思い出が目覚めたような気がしました。
- KAさん 府中生まれです。近くに昔から有名な大国魂神社があつて、そこには参道があつて古い昔からの大きなケヤキ並木があります。昔は今と違って夜中に行われる暗闇祭りも盛大に行われていました。大国魂神社のケヤキ並木の道が私の道かもしれません。

「皆さんそれぞれの“ふるさと”についてお話をいただき有難うございました。時間が無くてお話しきれない事もおありだったと思いますが、“ふるさと”は心に染み付いた思い出の町ということになるのでしょうか。映像でも感じましたが、“八王子がふるさと”となるよう次の世代に語り継いでゆく努力が大切だという思いを強くしました。今日は本当に有難うございました。」

立川会員のまとめで“この道はいつかきた道”の講座を終了した。

（記録：市川 昌平）

八王子の庚申信仰・庚申塔

話をする人：増田由明

司 会 者：大野聖二



話をする人：国税の職場に 41 年勤め、平成 17 年 7 月に八王子税務署長で退職。八王子に勤務した一年間、休日に八王子市内をカメラ片手に狛犬、庚申塔等を探訪。八王子学会で八王子の歴史、文化、民俗等を勉強中。

1. 庚申信仰とは

庚申信仰とは人間の体に「三尸^{さんし}」という虫が居て、60 日に一度来る庚申の夜に、その虫が人間の寝ている間に体を抜け出して、天の神様にその人間の罪状を告げ口に行く。そして、天帝は罪の度合いによって寿命を縮めるので人間は徹夜をすれば、三尸は体から抜け出さないので、講の仲間と噂話、酒、博打等をして、一晩中起きていた。その結果三尸は体を抜け出せず、人間は長生きが出来ることになる。これは中国の道教と日本の神道、密教、仏教、民間信仰等が融合した結果である。

2. 庚申信仰について

庚申とは庚(カノエ)申(サル)のことで陰陽道の干支説(十干十二支)で、60 日に一度くる。道教説が通説であるが、柳田國男先生は固有説をとり、元々日本にあった「日待」、「月待」からこの信仰くると考えた。また江戸時代の神道家山崎闇斎は、佛教側に対抗して猿田彦命が庚申信仰の主尊と考えた。

3 庚申信仰の歴史

庚申信仰の起源としては、比叡山の円仁(慈覚大師)が書いた「入唐求法巡礼行記」に承和 5 年(838)11 月、夜日と眠らず。本国正月、と庚申の夜と同じである。と記されている。

平安時代の庚申信仰は、宮中では菓子を食べ、眠気覚ましに歌会、管弦、舞、碁、双六などをやって夜明けに解散していた。枕草子にも庚申の御遊としてでてくる。

鎌倉時代、鎌倉幕府の公式記録である「吾妻鏡」に八王子に関連した話が記載されている。建暦 3 年(1213)3 月 19 日に、和田義盛の館に横山右馬允時兼(八王子横山党)が来たので、庚申の行事を中止したとある。

室町・戦国時代のこの頃から一般庶民の間にも庚申行事が行われるようになり、室町中期からは仏教との結びつきが強くなり、戦国時代には信長も柴田勝家等、武将達と庚申待ちをしていた記録が信長公記に載っている。

江戸時代に庚申待は、大流行し、江戸時代の初期から青面金剛の軸を掛けて、勤行するようになり、講を作り、当番は輪番制で 60 日に一度集まった。そこでは、昔の話、改革、作物の話、人の噂話、花札、囲碁、将棋等で夜を明かした。

庚申の日にはいけないことは、肉食と男女同衾であり、庚申の日に生まれた子は、盗人になると信じられていて、石川五右衛門がそうだったそうである。

庚申信仰のご利益は、長寿、五穀豊穰、商売繁盛、家内安全、厄除け等で、地方によっては作神と信じていた。庚申待を三年 18 回やると三尸の力が弱くなるので、講の仲間でお金を出し合って庚申塔を造立するようになった。

明治以降の庚申待は、近代化の波、廃仏毀釈等によって庚申信仰が徐々に衰えていった。八王子では現在、下諏訪宿で毎年9月29日に行われているのみである。



4 八王子の庚申信仰

- ・ 石川日記に庚申待を輪番制で行っていた様子が、書かれている。
- ・ 原宿むかしがたりに町田家に残っていた庚申日待帳、講帳の紹介がある。

5 庚申塔の楽しみ方

- ・ 庚申塔には3匹の猿(見ざる・いわ猿・聞かざる)が彫られており、恩方地区の三猿は、その姿態が様々で全国的にも貴重なものが多い。

本尊である青面金剛の像が、恩方地区に綺麗で品のある同じ石工の作品と思われるものがある。

- ・ ショケラ、天の邪鬼が彫られている庚申塔が数体ある。

八王子には、多摩地区の中でも260基と数多く庚申塔が残っている。これは我々の先祖が、仲間と語らい楽しんだ証拠が庚申塔という形で残っている。我々は民俗学的にも、文化財としてもこれらの歴史的価値を再認識して、庚申塔の劣化、風化を防ぎ、後世に伝えていく必要があるのではないか。

(記録：佐々木 正)



●典型的な青面金剛像型と各部の名称
青面金剛は忿怒相(怒りの形相)で、六臂(腕が6本)に武器などを持つのが一般的。合掌女人(ショケラともいう)の髪を揺ってぶら下げる。庚申の晩の男女問答は禁忌事項、これを冒せば、子はどろぼうになる。そこで女性を勇らしめる姿を、豊饒的に描くとされる。鶏を配するのは鶏鳴または翌日の平旦の日を持つ像。

神等図(2) 青面金剛像(2) 庚申塔(2) 庚申塔(2) 庚申塔(2)



しょうかんのんざう
聖観音像型



文字塔(自然石型)



文字塔(神道型)

「からだを動かして健康になろう」

話をする人：山元哲夫
司 会 者：岡本宝蔵



話をする人：福井県出身。東急建設OB 1級建築士
趣味はマラソン、街道歩き
フルマラソンは海外も含め25回完走、
歩きは東海道他、5街道完歩

20年位前の私の状況をお話します。

職業の付き合いで、毎晩の飲酒、午前様の連続、からだを動かすこともたまのゴルフと、体重85kg、ウエスト90cm、肝機能もγ-GTPが360と上限の50を大幅に上回り、人間ドックの医師から何とかしなくちゃ、酒をしばらくやめたら？と忠告されました。暮れから正月の2ヶ月酒をやめました。すると如実に数値が180と半減しました。医師が次に、実行力があるから運動をしたら？と再忠告され、マラソンを始めることになったのです。ここ10年、土、日曜に30～40km、月間150km位走っています。お陰で、現在 体重：70kg ウエスト：80cm 肝機能も正常値に戻りました。

地域でスポーツを指導する立場から、昨年慶応大学で『スポーツと健康』の公開講座を学び、スポーツの実践、経験を踏まえて、今回皆さんと一緒に学習することになりました。

- 1)健康であること： 日々の充実した暮らしを得る為の条件であり、健康を追い求めることの毎日ではなく、生活の質を高める為に、スポーツを通して健康の維持 増進を図る。
- 2)熱中症と水のとり方： 私たちの体では運動や体の営みによって常に熱が産生されますが、同時に、私たちの体には、異常な体温変化を抑える為の、効率的な調節機構も備っています。暑い時には、自律神経を介して末梢血管を拡張させ皮膚に多くの血液を分布させて、外気への「熱伝導」による体温低下を図ることができます。また汗をたくさんかけば、「汗の蒸発」に伴って熱が奪われますから体温の低下に役立ちます。汗は体にある水分を原料にして皮膚の表面に分泌されます。このメカニズムも自律神経の働きによります。

このように私たちの体内で血液の分布が変化し、また汗によってからだから水分や塩分(ナトリウムなど)が失われるなどの状態に対して、私たちの体が適切に対処できなければ、筋肉のひきつけ症状や失神(いわゆる脳貧血：脳への血流が一時的に滞る現象)を起こします。そして、熱の産生と「熱伝導と汗」による熱の放出とのバランスが崩れてしまえば、体温が著しく上昇します。このような状態が熱中症です。熱中症は死に至る恐れのある病態ですが、適切な予防法を知っていれば防ぐことができます。

- ①暑さを避けること ②服装を工夫すること ③こまめに水分を補給すること ④急に暑くなる日に注意すること ⑤個人の条件を考慮すること ⑥集団活動の場ではお互いに配慮すること。⑦水のとり方は、のどが渇く前に水分補給をすることが必要です。水分の補給によって、体内の温度調節機能の低下を防ぐことができます。少し冷やした水は胃腸の動きを活発にし、吸収を促進する働きがあるので効果的です。
- 3)からだの仕組み： 人が立つときは誰でも少し足を開いて立ちます。無意識のうちに開いた足のどちらかに体重をかけていますが、しばらくすると反対の足に体重を移しています。寝ているときの寝返りや、足を組んで座っているときに組んでいる足を組みかえるなど、日常動作の中でもこういった動作は見るができます。
- 美しい姿勢で立つためにはコツがあり、野球の投手が投球するときも、このコツを使ってバランス良く片足で立って投球しています。立っているとき腰より上の体は足で支えられていますが、腹部から下の足の動きに大きく影響を受けます。足の筋肉の始点の多くが骨盤の両側にあるため、どうやら立つときのバランスのコツは股関節の使い方にあるそうです。
- 4)メタボリックシンドローム： 内臓脂肪の蓄積によりインスリン抵抗性が起こり、糖代謝異常、脂質代謝異常、高血圧などの動脈硬化の危険因子が、一個人に集積している状態です。たとえ一つ一つの危険因子の程度が軽くても、重複して存在すると動脈硬化性疾患の発症が相乗的に増加するので、高コレステロールに匹敵する強力な危険因子とし

て注目されています。10年後の虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)の危険度が、正常な人に比べ36倍も高くなります。内臓脂肪蓄積の結果、尿酸の産生が過剰となり、公尿酸欠症が約70%に認められます。非アルコール性脂肪性肝炎も高率に発症し、放置すると2割が肝硬変に進展するといわれています。ウエスト周囲径：男性 85 cm以上、女性 90 cm以上は、内臓脂肪面積 100 cm²以上に相当します。治療のポイントは糖尿病、高血圧、高脂血症などこの病体を治療するのではなく、共通の基盤である内臓脂肪を減少させることです。皮下脂肪と違って減少するのが速いので、少しの減量で削減効果が期待できます。現体重またはウエスト周囲径のマイナス5%程度を目標に、緩やかな減量を継続させます。

①食事療法：摂取カロリーの制限、栄養バランスを保つなどの基本、肥満の治療と同じです。

②運動療法：運動は、内臓脂肪を減少させる有効な手段なので、習慣的に継続させることが重要です。日常生活の運動不足が目立つので、生活に合わせて活動量が増えるような工夫が必要です。

③薬物療法：今のところ、内臓脂肪そのものを減らす薬はありません。

5) 健康のための食事と運動のバランス： 私たちの体は、心臓から全身に血液を送っています。いわば、心臓は命の要となる部分。その心臓を動かすガソリンの役割をするのが、「脂質」なのです。主に、中性脂肪として全身(皮下脂肪や内臓脂肪など)に蓄えられていて、徐々に分解されて心臓のエネルギー源となります。コレステロールも重要な栄養素です。体の組織やホルモンを作る材料であり、神経伝達にかかわります。

運動を行うことで、筋組織が傷つきいつたん筋力のレベルは下がります。そこで適切な栄養補給と休養をとることによって傷つけられた筋組織が修復され、運動前より太く、強くなります。この繰り返しの運動によって筋力のレベルが増加するのです。

6) 家庭でできるエクササイズ： 日常生活での活動量が少なく、運動習慣もないということでは全身持久力や筋力が不足してくるだけでなく、エネルギー摂取量が消費量よりも多くなりやすく、体脂肪を蓄積させてしまう原因となります。それを解消するためにまずは体調を整え動きやすい体づくりのための体操をおこない、次に基礎代謝量を増やすための筋力トレーニングを実施し、同時に体脂肪を燃焼させるための全身的な有酸素運動をおこなうことが重要です。

トレーニングマシンや道具がなくても自宅などで簡単におこなうことができる運動をご紹介します。 一略一

7) 骨粗しょう症と運動・スポーツ： 骨粗しょう症は「骨強度の低下によって骨折のリスクが高くなる骨の障害」であり、高齢女性に多発します。骨粗しょう症に関連する脊椎や大腿骨近位部の骨折は寝たきりの原因となり、高齢者の自立を阻む大きな要因となります。

高齢期における骨粗しょう症による骨折を予防するためには、成人期までに獲得される peak bone mass を高めること(ジャンプや筋力を要する運動が有用)、高齢期では骨量を維持・増加させ、転倒を予防すること(エアロビクスやウォーキングが有用で柔軟性、バランス、筋力の改善)が重要とされています。

8) 筋力トレーニングの効用： 身体的加齢による筋力現象は「活動しないから筋力低下→歩行困難→転倒の恐怖→活動減少」という悪循環を生みます。

筋力トレーニングの身体的効果は「筋力の向上」を始め、「身体組成の改善」「エネルギー代謝の向上」「心配機能の向上」「腰部症状の軽減」「関節痛の減少」等が期待できます。

9) ストレスケア： 休養、睡眠、読書、スポーツ、ドライブなどの気分転換は有効な手段でストレッチ運動、自律訓練法も有効です。

10) 運動・スポーツと皮膚疾患： スポーツをする環境は、皮膚に対して、負担がかかります。戸外スポーツでは日焼けをし、長く水中にいと皮膚がふやけ、手足にマメやタコができます。スポーツをして汗をかくと気持ちよいですが、ここでも体温調節という大事な働きを皮膚がしているのです。

11) スポーツと健康： メタボリックシンドロームに対する予防や治療には自らの努力が必要です。腹囲が85 cmあるいは90 cmをこしたから心配するのではなく、どのようなライフスタイルを送っているかを自身で考え努力・実行すること、そのために学ぶことが重要です。

(記録： 山元哲夫)

参考文献：慶應義塾大学スポーツ医学研究センター
2007年度公開講座「スポーツと健康」

駆け足で『激動する中国を見る』

話をする人：渋谷 文雄

司 会 者：石井 充



話をする人：戦前、旧満州国に留学。在学中に敗戦となり、八路軍に抑留され、兵士として各地を転戦し、苦難の青春時代を過ごす。昭和28年秋に帰国し、経営者団体を経て実業界で活躍、中堅上場企業の代表取締役役に就任、社長、会長を歴任。ライフワークは中国現代史の研究。

中国の現代を知るために、その前段として阿片戦争からの近代史について語り、激動する現在の中国の政治・経済と日中関係を分析した。最後に、よくある質問例として尖閣列島の所有権、ODA、支那という言葉、教科書問題や靖国参拝にたいするこだわり、これからの中国はどうなるか、といった問題を解説した。

1 列強のアジア侵略（植民地の争奪戦）

阿片戦争（1840～42）に始まる欧米列強の進出。当時のアジア極東への欧米列強の侵略

2 明治維新と日清・日露戦争（日本の軍国主義国家への道）

日本情勢：幕府の解体に続く近代国家への体制整備、軍備増強、日清戦争、露独仏の三国干渉、日露戦争

朝鮮情勢：江華島条約（江華島事件を期に日本が朝鮮に強いた不平等条約）とそれに続く欧米列強の進出

中国情勢：東学党の乱、朝鮮出兵、日清戦争（1894～95）、日露戦争（1904～05）

3 中国の目覚めと日中戦争

中国の改革派が明治維新を高く評価。多くの留学生が来日（1906年；17860人）。日本への亡命者・視察者で著名な人たち：康有为・梁启超・孫文・汪兆銘・蒋介石・周恩来・宋慶齡・魯迅・郭沫若等々。

中国語に取り入れられた近現代の語彙：人民、共和、国家、憲法、国民、政党、共產、民主、民族、民権、主義、社会、政治、経済、文化、教育、科学、技術等々

辛亥革命（反満興漢）中華民国の成立（1912/1）、孫文大統領就任。袁世凱と交渉、清朝の滅亡。軍閥の割拠。共産党の設立（1921/7）。第一次国共合作（1924/1）。北伐戦争；蒋介石の北伐（1926/7）、南昌蜂起；共産党が江西省南昌で起こした武装蜂起（1927/8）と第一次国共合作の崩壊→内戦。紅軍2万5千里の長征。

張作霖爆殺（1928/6）、満州事変（1931/9）から満州国の成立（1932/3）。冀東政權（河北省で殷汝耕を首班とする政權；閏東軍が作成した傀儡政權、1935/11）。反日運動。西安事変；張学良らによる蒋介石監禁事件（1936/12）第二次国共合作。廬溝橋事件（1937/7）→支那事変。日本の敗戦へ

国共内戦

重慶会談；内戦回避や「国共合作」による新中国の建設など戦後体制の協議（1945）、マーシャル、蒋介石、毛沢東、周恩来など代表として参加

ソ連の参戦（1945/8）東北侵攻と暴虐、閏東軍の解体、日本人居留民の悲劇

八路軍の進駐、軍人、技術者等の抑留（空軍、病院、映画、工場）。国民軍の進駐。国共の勢力争いは八路軍の規律と国民軍の腐敗が影響。民衆の支持を失った国民党は台湾に亡命政權

4 共和国の誕生（試行錯誤の始まり）

中華人民共和国の成立（1949）。毛沢東のソ連訪問（1949/12）。朝鮮戦争（50/6～）坑米援朝で人民義勇軍派遣。新民主主義革命（政治協商会議）第一次5ヶ年計画（1954）スタート。労働者賃金、農民収入改善。百家争鳴、不満の噴出。毛沢東反右派闘争を発動（1957）

大躍進政策

合作社～人民公社 26000 社（1958）、1 億 2 千万戸。政策失敗から食糧危機（1959～61）では 2～3 千万人餓死。集団所有制の解体（1961）。ソ連との対立で援助停止、技術者の引き上げ、257 プラント契約破棄――。

国家主席は毛沢東から劉少奇へ（1959/4）

文化大革命

毛沢東の反撃、紅衛兵の出現、激しい権力闘争。非正常死 2 千万人？劉少奇、鄧小平の失脚、林彪クーデター失敗死亡。

ニクソン訪中（1972/2）、日中国交回復（72/9）周恩来、朱徳死去（1976）。毛沢東死去・華国鋒主席就任（76/9）・江青ら 4 人組の逮捕（76/10）→文化大革命の終焉。

日中平和友好条約調印（1978/8）。鄧小平訪日（78/10）、資本主義を評価、改革開放のモデルは日本。

改革開放路線決定

四つの現代化（農業、工業、科学技術、国防）。経済特区（1979 年 4 都市、84 年 14 都市追加）。胡耀邦総書記開放的に過ぎ失脚（1987）。天安門事件（1989）。鄧小平の南方講話：黒猫白猫論、先富論。鄧小平死去、香港返還（1997）

5 社会主義市場経済

経済特区の拡大と積極的外資導入。対中直接投資累計；契約 585 千件、投資額 7535 億ドル（1979～2007）

雇用創出、輸出拡大、競争促進、技術移転等経済成長への貢献。貿易黒字増大し外貨準備高急増

資源暴食（2004 年）：世界の石油（8%）、鋼材（27%）、セメント（47%）を消費。消費の非効率（単位 GDP 創出に要するエネルギーは米の 3.5 倍、日本の 6.5 倍。環境汚染の拡大）

較差（跛行的發展）

① 内陸と沿海、② 農村と都市、③ 就労差別、④ 富裕層と貧困層。三農問題：① 農業の低生産性、② 農村のインフラ整備（衣料、教育道路、水道、電気、電話）、③ 農民の戸籍差別

腐敗

許認可、裁定、審査機関が多く、汚職多発

政経経速（一党独裁）

WTO加盟（2001/12）、オリンピック（2008/8）、万博（2010/5）

資源の浪費、環境破壊、汚染、高齢化、食糧危機、人口増加、農地減少、農民暴動、水量危機（南水北調）などの問題

批判勢力の統制（新聞、ラジオ、テレビ、その他）→チェック機能が動けない

危機多発期 2010 年 社会、金融、経済、就業などの領域

腐敗問題が導火線・政府信頼の欠如・企業個人間の信頼欠如・政府政策の透明度欠如（北京大学 丁元）

共産党は改革開放以前は労働者と農民の側に立っていたが、現在は資本家の側に立っている。昔、共産党は民衆を頼りに政権の座に着いたが、なぜ今、民衆をおそれるのか（中国経済体制研究会の西山会議議事録）

6 民主化への道筋（激流？激変？）

① 教育、貧富地域、都市・農村等の格差是正、② 経済成長の安定化、均衡重視、③ 環境問題の対策強化
④ 国際関係の重視、政治の民主化

7 新たな日中関係

政治問題の解決（靖国、尖閣列島、自由貿易協定、その他）。高度技術産業の進出。積極的な人、文化の交流、友好関係の醸成

（記録：橋本 鋼二）

「経済の動きと私たちの暮らし」

話をする人：佐々木研吾

司 会 者：北川 博孝



話をする人：秋田市出身。元日本銀行職員。本店のほか、秋田、札幌、小樽、金沢、盛岡に勤務、主として企画・調査部門や内部管理関係に従事。
趣味：地図を携えて山野や街を歩き回る自称「地理研究」。

1. 日本銀行運営の理念と近年の金融政策

(1) 日本銀行の独立性・中立性と透明性

周知のとおり、去る 3 月 19 日に任期満了を迎えた日本銀行総裁、副総裁の後任任命に当たり、再三の内閣提案候補に対して野党が多数を占める参議院が同意しなかったため、一時総裁が空席になるなど、混乱を招いた。漸く 4 月入り後、衆参両院の合意を得て、総裁に白川方明元日銀理事、副総裁に西村清彦前日銀審議委員(元東大教授)が任命されたが、なお副総裁 1 名が欠員のままとなっている(5 月 27 日現在)。

そこで、この機に日銀役員任命方式の意味、その背景にある日銀の独立性・中立性や透明性の大切さを、改めて考えてみたい。

すなわち、「銀行券の発行、通貨・金融の調節、資金決済の円滑化、信用秩序の維持(日本銀行法第 1 条)、物価の安定、国民経済の健全な発展(第 2 条)」を目的とする金融政策の運営は、「政府・政治から独立した中央銀行の中立的・専門的判断に委ねる」ことが、先進諸国共通のコンセンサスとなっている。仮に、政治的判断によって、短期的な景気浮揚のため過大な通貨供給が行なわれると、インフレを招き、通貨に対する信認を失い、経済が機能不全に陥る危険性があるからである。

その一方、日銀は、「金融政策が、政府の経済政策の基本方針と整合的なものとなるよう意思疎通に努める(第 4 条)」とともに、「政策決定の考え方や決定プロセスの透明性を高め、国民や国会に対し十分な説明責任を果たすべき(第 3 条)」ものとされている。

このような日銀運営の理念は、バブルの発生と崩壊という大きな経済変動のあと、金融の枠組み見直しの一環として改正された、新「日本銀行法」(平成 9 年法律第 89 号、同 10 年 4 月 1 日施行)の条文に改めて盛り込まれた。とくに、総裁、副総裁の人事に関しては、引き続き内閣が任命するが、新たに「両議院の同意が必要(第 2 3 条)」とされ、一方、旧法に定められていた内閣による解任権は廃止された。

上記のような新法の趣旨等からすれば、今回の参議院不同意の経緯は、如何なものかと思われる。

(2) 金融政策の決定方式と近年の金融政策

日銀の金融政策(政策運営の基本方針、金融市場の調節方針<公開市場操作、政策金利操作、預金準備率操作>)は、政策委員会の金融政策決定会合(月 1~2 回開催)において決定される。政策委員会は、総裁、副総裁(2 名)、審議委員(6 名)の 9 名で構成され、議決は多数決による。議長は互選によるが、通常総裁が議長となる。

なお、財務大臣(または代理者)および経済財政担当大臣(または代理者)は、委員会に出席して意見を述べることができるが、議決権はない。

近年の金融調節は、無担保コール金利(オーバーナイト物)の誘導を中心に行なわれており、07 年 2 月以降、同誘導目標は 0.5%前後となっている。これに先立つ 01 年 3 月~06 年 3 月には、デフレの進行を阻止するため、調節目標を金利から日銀当座預金残高に変更する「量的緩和政策」を実施した。これは、金利がゼロになっても市場に大量の資金を供給することによりデフレを克服しようとするもので、同残高目標は、ピーク 30~35 兆円に達した。

2. 米国サブプライムローンの破綻とその波紋

(1) サブプライムローン(Sub - prime loan)のあらまし

80年代以降、中南米から米国への移民が増加、連邦政府は、これら新たな移民を含めたヒスパニック、黒人等低所得層に対する福祉政策の一環として、優遇税制をはじめ各種の住宅取得促進策を推進した。サブプライムローンもその一つである。

低所得層の多くは、銀行口座を持っていない、ローンの延滞履歴があるなど、普通の住宅ローン申請基準を満たしていなかったが、折からの金余りの中で金融機関、ローン会社等の貸出競争が激しく、これらは競ってサブプライム(優良顧客<Prime>向けでない)ローンを開発して貸し応じた。

全米の同ローン残高は1.2兆ドル(約130兆円)と、全住宅ローン10.4兆ドル(約1,100兆円)の11.5%に達した。約4割が変動金利型で、当初2〜3年は返済条件が緩く(いわゆるゆとり返済、元金据え置きの場合も)、金利も6〜8%であるが、その後、返済額が急増、金利も11〜12%に引き上げられるケースが多い。

(2) サブプライムローンの破綻とその影響

前述のように、もともと低所得層には無理な商品設計であったが、住宅ブームの鎮静(住宅価格の低落)とともに、元利金の延滞が漸増、借り換えも難しくなって、差し押さえが急増した(08〜09年の延滞・差し押さえ対象額は、融資残高の約3割に相当する3,670億ドルに達するとの予想もある)。

ローンを融資した金融機関・ローン会社は、金利を含めたローン債権を、証券を発行する他の金融機関に売却、一方買い取った金融機関は、他の債権と混合して複雑な証券化商品を作り、広く世界中のファンド、金融機関、機関投資家等に販売した。こうした仕組みにより、融資した金融機関・ローン会社は、損失を抱えずに済むという安心感(モラル・ハザードの発生)から審査が甘くなり、「焦げ付き」を増やすこととなった。

この結果、サブプライム関連を中心に証券化商品全般の価格が急落、世界中のファンド、金融機関、機関投資家等が大きな損失を被った。

また、米国の金融・証券市場の混乱から、ドルに対する信認が低下、米国経済全般に対する先行き不安感も強まったため、大幅なドル安、株安が起り、全世界に伝播した。さらに、金融・証券市場から大量の投資・投機資金が原油・金・穀物等の取引市場へ流出し、折からの需要増とも相俟って、原油をはじめ国際商品市況の高騰を招いた。

3. 円高、株安、原油高

(1) 円高(ドル安)

08年3月中旬、円ドル相場は、12年7か月ぶりに1ドル95円台にまで急騰した。しかし、市場では概ね平静に受け止められた。これは、円高というよりはドル安であり、日本の産業は、国際競争の中で鍛えられて筋肉体質になっていること、輸出先が新興国向けなどに多様化していること、などによるものである。

(2) 株安

08年3月中旬、日経東証平均株価が12千円を下回った(昨夏頃は18千円前後)。

これは、直接的には米国株式の下落、円高を反映したものであるが、その背景として、政局の混迷、構造改革失速への失望感や輸出に偏った成長への危惧感などによる、海外投資家の日本株離れが指摘されている。

(3) 原油高

ニューヨーク商業取引所におけるWTI原油先物価格(国際指標価格)は、07年夏場から急騰、08年初には、1バレル100ドルを突破した(5月21日、130.47ドル)。

こうした動きを反映して、国内の石油製品消費者価格も上昇しており、5月12日のレギュラーガソリン1リットル当たり全国平均小売価格は、160.1円を記録した(石油情報センター調べ)。

これは、もとより投機・投資資金の流入を主因とするものであるが、中国、インドのような巨大新興国の高成長に伴う石油需要の増大に対して供給が追いつかず、世界的に需給逼迫の状況が続くと、一般にみられているからである。

これらのほか、小麦、大豆、とうもろこし等国際商品価格の高騰が目立ち、国内でも、昨秋来、これら輸入穀物関連製品を中心に値上がりが続いており、注目を要するところである。

(記録：佐々木 研吾)

「あなたも絵手紙描いてみませんか」

話をする人：池田ときえ

司 会 者：塩澤 迪夫



話をする人：絵手紙花の会講師、絵手紙歴 17 年。
八王子を中心に教室活動を展開している。

〔毎日の暮らしの中で、チョットお礼を、お見舞いをということがよくあります。電話で済ませるのが手っ取り早く楽なのですが、嬉しい気持ち、案ずる思いをよりよく伝えたい時は、やはり手紙が一番です。書式にのっとった正式な手紙も結構ですが、家族や友人なら親しみ易い絵手紙がいいでしょう。絵が苦手、ついでに字も苦手なんていう方こそ、絵手紙です。誠意を伝えるのですから、上手下手は関係なく、むしろ個性になるのです。いい絵手紙を描くコツは、『心を込めて、丁寧に』。あなたも絵手紙描いてみませんか〕

この呼びかけに応じて、24 名（一般 15 名、プロバス 9 名）が参加した。大多数の人は、初挑戦であった。会場には大きな円テーブルが三つ、そこに 8 名ずつ着席。テーブル上には、和紙はがき、耐水性ボールペン、絵筆、絵の具、パレット、筆洗いの水と容器、など、用具一式が用意されている。また、別テーブルにはモチーフとして、一輪挿しにさした花、お手玉、鯉のぼりなどの民芸品、熊のぬいぐるみ等のおもちゃが用意されていた。

最初に、全員が中央テーブルに集まり描き方の指導を受ける。絵手紙を描く時の心得として

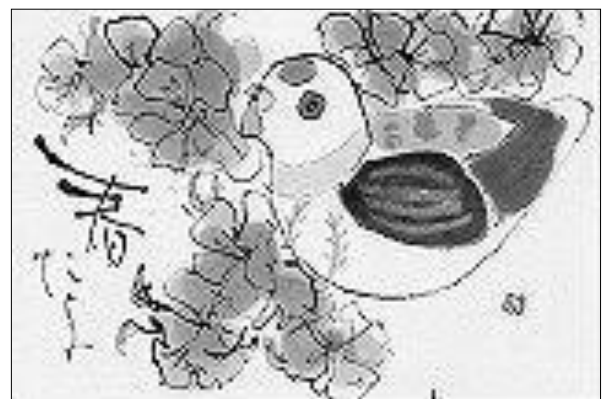
1. 送る相手を思い浮かべながら
2. モチーフは一人にひとつ
3. なるべく実物の大きさに描く
4. ぶっつけ本番、下書きなし
5. ゆっくり、丁寧に

選んだモチーフは、まず、各自の腕時計。用具はボールペン。そして色の付け方のコツ。更に民芸品の描き方と彩色のコツ。その後、指導のポイントを胸に、各自席に戻り挑戦を開始した。

約 1 時間をかけて、参加者はおもしろおもしろに 2~3 枚を仕上げ、出来上がった作品を中央テーブルに集め、先生から一枚一枚に対し講評を頂いた。

講評の後、コーヒーとケーキを頂きながら、それぞれの作品、また頂いた講評を話題にして会話が弾み、和気藹々の歓談の内に教室は終了した。

(記録：矢崎 安弘)



日本人の心に刻まれたあの短歌、あの人物

話をする人：堀口 進

司 会 者：廣瀬智子



話をする人：神奈川県公立中学校長を定年退職後、オーストリア・メルボルン市のスインバン国立大学の非常勤講師として2年半日本語を教える。帰国後「堀口プレイングカード（トランプ）美術館」を設立。館長。カード研究家として現在にいたる。著書「クーテンホーフ・光子の生涯」は日本図書館協会の選定図書に指定された。他に新人物往来社の別冊日本歴史に光子についての執筆を何回かする。

・短歌とは

短歌は、日本人が創造した日本固有の文化である。形式は、万葉集初期の頃成立したといわれるが、日本の古今を通じて、日本人に好まれ、愛されて盛んに詠まれてきた。特に、日本人が五・七・五・七・七の31語の文字を綴って、自分の考えや、感情の深奥を表現する短歌は、世界に類を見ない日本独自の精神文化の結晶であると言えるであろう。

・膨大な作品数

万葉集の時代から現在に至るまでに多くの日本人に詠まれた短歌の数は膨大で、全体を集約することなど不可能である。万葉集をはじめ、古今和歌集、新古今和歌集へと続く勅撰和歌集中の作品群、更には、数多くの私家集中の短歌群の膨大さに加え、時代を重ねるにつれ、短歌を嗜む人口が拡大し、広く庶民に浸透した結果、作品は無限に増大している。そして短歌は日本における一大叙事詩文化を形成するにいたったのである。

・名歌人・名歌の輩出

日本人は名歌と言えはすぐに百人一首の歌をあげる。また、名歌人と云えば直ちに36歌仙とか、6歌仙に入る歌人を挙げる。そして、百人一首は遊戯としてカルタ遊びに発展した。名歌が遊びと通じて庶民の間にまで親しみをもたれているのである。更に、名歌人としては、歌聖といわれる柿本人麻呂をはじめ、大伴家持、山部赤人、藤原定家、藤原俊成等々、遙か昔の歌人までが現在に至るまで語り継がれているのである。今後も、名歌人、名歌は輩出しつづけることであろう。

・日本人の心に刻まれたあの短歌、あの人物

今回の学習サロンの内容としては、以上のような膨大な短歌作品の中から、特に時代を超えて日本人に強いインパクトを与え、その短歌にまつわる伝説や物語を生んだ作品、学校の戦前戦後の教科書に載せられた作品、唱歌や流行の唄となった作品をとりあげて話題としたい。従ってとり上げた短歌は、必ずしも名歌による名歌に限らず、ただ長い間日本人に愛しつづけられて来た短歌である。話の進め方としては、短歌の説明、出典、歌人、更にその歌を生んだその時代の背景を、説明していくことにしたが、その歌を詠んだ歌人が高

名であった場合などには人物の説明や、その時代背景などにウェイトが置かれ、本来の短歌の内容、技法などの説明が疎かになったことは否めない。

・話題とした主な短歌

- ・ 高き屋に 登りて見れば 煙立つ 民のかまどは にぎわひにけり (新古今集…仁徳天皇)
 - ・ あかねさす 紫野行き 標野行き 野守は見ずや 君が袖ふる (万葉集…額田王)
 - ・ 天の原 ふりさき見れば 春日なる 三笠の山に 出し月かも (古今集…阿部仲麻呂)
 - ・ 我が妻は いたく恋ひらし 飲む水に 影さえ見えて よに忘れじ (万葉集…防人の歌)
 - ・ 我が君は 千代に八千代に さざれ石の 巖となりて 苔のむすまで (古今集…読人しらず)
 - ・ 花の色は 移りにけりな いたずらに わが身世にふる なかめせしに (古今集…小野小町)
 - ・ 東風吹かば にほいおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春を忘るな (拾遺集…菅原道真)
 - ・ ななへやへ 花は咲けども 山吹の みのひとつだに なきぞあやしき (後拾遺集…兼明親王)
 - ・ この世をば わが世とぞ思う 望月の かけたることも なしと思えば (小右記…菅原道真)
 - ・ 年を経し 糸の乱れの 苦しさに 衣のたては ほころびにけり (古今著聞集…源義家・安部貞任)
 - ・ 吹く風を 勿来の関と 思えども 道もせに散る 山桜かな (千載集…源 義家)
 - ・ 都をば 霞とともに 立ちしかど 秋風ぞふく 白河の関 (後拾遺集…能因)
 - ・ みちのくの 安達原の 黒塚に 鬼こもれりと きくはまことか (大和物語…平 兼盛)
 - ・ もえいずるも 枯るるも同じ 野べの草 いずれか秋に あわではつべき (平家物語…祇王)
 - ・ さざなみや 滋賀のみやこは あれにしを むかしながらの 山ざくらかな (千載集…読人しらず・平 忠度)
 - ・ ゆきくれて 木の下かげを 宿とせば 花や今宵の 主ならまし (平家物語…平 忠度)
 - ・ 後の世も 又後の世も 廻り会へ 染む紫の 雲の上まで (義経記…源 義経)
 - ・ ねがはくは 花のしたにて 春死なむ そのきさらぎの 望月のころ (山家集…西行)
 - ・ 返らじと 兼て思えば 梓弓 なき数にいる 名をぞとどむる (太平記…楠木正行)
 - ・ 露と落ち 露と消えにし わが身かな なにはのことも 夢のまた夢 (豊臣秀吉)
 - ・ 石川や 浜の真砂は 尽きるとも 世に盗人の 種は尽きまじ (金門五三桐…石川五右衛門)
 - ・ われならで 誰かはうえむ ひとつ松 こころしてふけ 志賀の浦かぜ (常山紀談…明智光秀)
 - ・ 春ごとの 頃しもたえぬ 山桜 よも霧島の 心ちこそすれ (芸藩通志…石田三成)
 - ・ はなもまた 君のためにと さきいてて 世にならいなき 春にあふらし (醍醐花見の短冊帳…淀君)
 - ・ 散りぬべき 時知りてこそ 世の中の 花も花なれ 人も人なれ (細川ガラシャ夫人)
- その他 21 人分は省略

・補足

とり上げた作家は全て実在の人物。2, 3 の作品は必ずしも本人の作と云えない説あり。その他はサロンで口頭で補足・説明を加えた。

(記録：廣瀬 智子)

八王子が育んだ偉大な禅僧 鈴木正三について

話をする人： 近藤 泰雲

大野 聖二

司 会 者： 土井 俊玄



話をする人： 近藤 泰雲

長野県飯田市出身。東京都立高等学校事務長、
全国公立学校事務長の会の調査・研究・総務の各
部長を歴任。退職後仏門に入り、郷里の増泉寺に
住し、茶道を楽しみながら、郷里と八王子での半々
の生活をしている。

1 正三の出家の動機

愛知県足助に生まれ戦国から江戸初期を生きた特異な禅僧であり、坊さんが神様になった珍しい例である。

17歳の時、「宝物集」を読んで感激し、仏教に帰依するようになり名僧知識を尋ねて教えを受けていた。44歳にて世間を嫌になりけりと出家し、弟に家督を譲った。

2 宗教家としての正三

曹洞宗を主として修め師匠は特に持たず、逞しい 気概と確固たる自信をもって、どの宗派、教団に属さず、自由な立場で当時の教団・僧侶を鋭く批判し、民衆のために実際の生活に役立つ新しい仏教の教えを説いた。

関が原の役にも従軍した正三は、武人の生死をかけての座禅「正三の仁王不動禅」を説いた。これは仁王像・不動像のように厳しい心をもって座禅をし、その気持ちを一日中持ち続けよという考えで、近世の仏教史上、文学史上に影響を与えた。

3 禅と念仏一如

念仏を重視し「禅よし、念仏よし」の立場を取った。

著書「二人比丘尼」・「念仏草紙」門人恵中の編纂した「驢鞍橋」に、禅的な思想や真言宗風の思想が見られる。禅に近く念仏にしても煩悩を断ち切り、悟りを得るための念仏を主としている。

4 仏法は世のため、人のため(正三の教え)

- ・ 生活の中に哲学が生まれ、民は育つ。政道が民の生活を支え、民が繁栄をもたらす。
- ・ 仏法と渡世の術は同じで、夫々の職分の中に仏法を見出せ。一鍬一鍬に南無阿弥陀仏を唱えて工作すれば仏果に至る。
- ・ それぞれの身分に応じて、世俗的な職業生活に精励することが、仏道修行である。

5 島原の乱後

唐津藩主寺沢氏支配下の九州天草で、キリシタンと農民が圧政・重税とキリシタン弾圧に耐えかねて、寛永15年に島原の乱が起きた。

島原の乱後に、正三の弟である鈴木重成が天領となった天草の初代代官になった。重成は行政区画を再編成し、新しい庄屋、大庄屋を任命し、移民を導入して村落の再建を進めた。

人心の安定のために、宗教政策の相談役として、鈴木正三が寛永19年、64歳の時に招聘された。正三

は、三年間天草に滞在し、この間「破吉利支丹」を書き、天草に 32 寺建立して、その寺院に納めた。

重成は、天草総石高 4 万 2 千石は実生産高の倍であり、幕府に石高半減を願い出たが聞き入れられず、江戸藩邸にて 66 歳自刃した。幕府は病死扱いとした。そして、正三の実子であり、重成の養子である重辰に家系を継がせ、万治 2 年に 2 万 1 千石の石高半減を認めた。

6 鈴木神社

鈴木さま(鈴木正三・重成・重辰の御三神)を祀る天草鈴木総本社がある。

島原の人々の鈴木さまの敬慕の念は今も変わらず、島民の生活に命をかけてくれた恩人として三人を今も祀っている。

7 その他

正三は、晩年に中郷の豪族井上出羽の帰依を受け、現在の多摩御陵内に堅叔庵に住み、教えを広めた。長房の長泉寺の墓地に正三と弟子の恵中の墓がある。

正三は人間のありよう、心のありようを世に生かした。世のため人のために仏法はある。



話をする人：大野 聖二

プロバスクラブ初代・10 代会長、学園都市文化ふれあい財団理事、元八王子追分郵便局長、いちよう祭りや地域各種文化団体を創設。

日本で最初に資本主義を説いた経済学者としての正三の側面

徳川幕府は士農工商の身分制度を導入した。その中で江戸っ子に正三の思想が受け入れられた。

万民徳用には、平民でも一生懸命に働くのがいい。商人は、他の国のいいものを持ってきて売ることはいいことだ。お金を稼ぐこと、商人は儲けることはいいが、儲けすぎはいけない。儲けたお金で新しい事業を起こすことが大切であると書き、進んだ思想を正三はもっていた。

人間が正直な心で仕事をしていれば、仏の加護にあえる。人間として一番大事なことは、恐れを知っていることである。殺伐な今の世の中において、正三を学びながら、我々はこれでいいのだろうか、正三の思想をもう一度考える必要があるのではないか。

(記録：増田 由明)

「パソコンと親しむデジカメ講座」

話をする人： 吉田 宗昭

パソコンによる展示アレンジメント：武田洋一郎

世話人：プロバスクラブ写真同好会有志

矢島 一雄、武田洋一郎、土井 俊玄

市川 昌平、下山 邦夫 ほか



講師略歴：(株)オリンパスカメラ開発部長、そのご(株)AVS代表取締役、退任後

アサヒカルチャーセンター デジカメ講座講師、現在NPOテラガ

ー

デンデジカメ講座専任講師

パソコン展示アレンジ担当略歴：武田洋一郎（プロバスクラブ会員）

：(株)NECエンジニアリング技術部長、プロバスクラブらくらくIT塾講師、

プロバスクラブホームページ担当などパソコンに精通



昨年 昭和記念公園、一昨年（雨で室内に変更）と外部で楽しむデジカメ講座をやってきた写真同好会の有志ですが、今年度は写真を持ち寄り、パソコンで整理する、活用する事を経験してみる事にしました。

幸い大横町の「サイエンスドームこども科学館」にパソコン室が在って、そこを借りればかなりの人数がパソコンに取り組みます。それでも希望者が多くてパソコン台数に限りがあり、午前の部と午後の部に分かれてもらわざるを得ませんでした。

写真が少ない、撮影する機会が無い、方もいらっしゃるかもしれないので、同好会は撮影会をサロン開催期間中に2回開催して、任意に参加してもらいました。

1回目は梅を狙って、3月5日青梅市の吉野梅郷に出かけました。今年は春が遅く梅の開花が後れて、この日は3分咲きといった所で、山の上ではまだまだ蕾が硬く、里では咲き始めというところでした。JR青梅線日向和田の駅で地元のご婦人に出会い、駅から少しの所の明白院と言うお寺の枝垂れ梅が満開と聞き、そこを回って吉野梅郷に行き、何とか撮影会らしく出来ました。サロン会員3名、プロバスクラブ会員10名、計13名の早春撮影会で、この時期の撮影会は相当写真に凝っている方でないと参加することは少ないと思いますので、それなりの経験であり、春の兆しを楽しみながら結構な撮影が出来たと思います。

2回目は桜を狙って4月2日、昨年と同じ国立昭和記念公園に行きました。プロバスクラブの行事などからこの日しか取れなかったのですが、開花はぴったりの満開。チューリップ、ポピー、菜の花、

雪柳など咲き乱れて、春爛漫です。まだ学校は春休み中で入園者もカメラマン、家族ずれ、子供の団体など思い思いに春を満喫していて、我々も写真を撮るよりも、楽しむ方へ興味が行き、ついには花より〇〇と早めにベンチに掛けて休もうかと思ったりして？いやいや皆さん熱心に撮影し、午後解散後も残って撮影を続ける方もありました。サロン参加者から6名、プロバスクラブから9名、それに吉田講師が参加してくださって16名の撮影会でした。

さてこれら撮影会の写真でも、又それ以外の写真でも、デジカメデータを持って来て、パソコン教室で写真の整理を学ぶのが今回のサロンのテーマです。以下その報告とします

4月24日サイエンスドームこども科学館で、パソコン台数に比して人数が多いため、午前午後2回に分離して行った。内容は同一である。午前中はプロバスクラブ会員を主として、午後はサロン会員を主とした。

午前はプロバスクラブ会員12名、午後はサロン会員8名であった。午後は雨と場所の通知が徹底しなかったためか、予定より少なくなった。

各自1台のパソコンの前に着き、吉田講師の説明と指示に従って、デジカメとパソコンとを繋ぐ所からスタートする。このことだけでも、カメラの付属USBコードが無かったり、カメラの電池が消耗していたり、慣れない方には戸惑うこともあるのだ、武田会員の必死のサポートで、何とか全員繋ぐ事が出来た。

繋げると画像を出すのだが、此处ではベーシックな応用の利く方法を選んで勉強するためにPhotoshop Elementsのダウンロードはせず、マイコンピュータ、リムーバブルディスク、DCM、カメラホルダーと開いていく方法をとった。縮小表示で自分の作品が一覧できる。但しこれはカメラをコンピュータで見ているのであって、取り込んだわけではない等と、基礎的理解をいつもはっきりさせながら、吉田講師は進められた。

一端、画像を最小化しておき、次に画像のホルダーを作っていた。マイドキュメント、マイピクチャ、その下に自分の名前ホルダーを作った。ホルダーは、例えばイベント毎に、ハワイ旅行、日光観光、家族誕生会、等などと作ると良いとか、ハワイ旅行でも2006、2007、2008、という風に更に分けて作ると良いとか、写真を格納した後日見やすくなるためのコツが話された。

ホルダーが出来るとそこに取り込むことになる、最小化していた画像を元に戻して、縮小画像から、取り込む方法を3種、教えられた。①全画像を取り込む、②1枚ずつ選んで取り込む、③連続する一部分を抜き出して取り込む、の③方法である。夫々キーボードの扱い方を聞く。編集コピーで取り込むよう教えられた。キリトリでは元の画像が消えるから注意するように、コピーなら元のカメラは変わらないわけだ、と基礎的理解をいつも注意してくれながらの進行であった。自分の作ったホルダーに貼り付けして一通りの勉強が終わる。

このように基礎的なことだがやはり時間はすぐに費やしてしまう。途中パソコンは壊れるから、必ずバックアップを取るよう、最近ハードディスクの廉価な物があるこれが良いとか、カメラから画像を取り込む時は電池を使うから、カードリーダーが便利だとか、などの注意が説明された。

CDに保存するのはどうかという質問があったりした。もちろんCDは良いが、CD-R/Wは止めた方がいい。などのアドバイスもあった。カメラを買うとメーカーのCDが着いているがこの使い方は、といった質問もあった。これは実はとても答えにくい質問で、もちろん使えば便利だ。しかし本日の教室はパソコン付いているソフトだけで十分できる事を紹介した。この方が広く使われているソフトPhotoshopなどに応用しやすいので、何ともいえない。と私(下山)は感想を持った。

また武田会員のパソコンに参加の皆さんから一人3枚の写真を記録させて頂き、さよならパーティーの席上プロジェクターで投影した。BGMを入れ、計52枚の作品を名前を映し出しながらのスライドショーがなされた。立派なアレンジで、お陰で作品も引き立ったのであった。

(記録：下山 邦夫)

参考資料

東京八王子プロバスクラブ

パソコンと親しむデジカメ講座用テキスト2008. 4. 24

作成 講師 吉田 宗昭

「原子力はいま」

話をする人：佐々木正
司 会 者：山崎修司



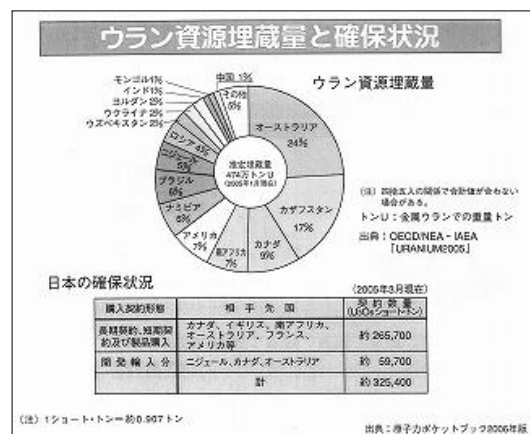
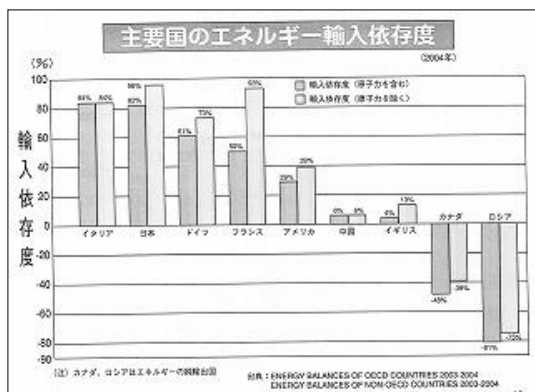
話をする人：山梨県生まれで、昭和48年以降八王子在住。昭和34年から35年間「東京電力」勤務。平成6年から17年まで青森県の六ヶ所村にある「日本原燃」社長を務める。

(はじめに)

現在地球的な規模での問題として、CO₂の増加は、地球上で人口が増え、経済発展に伴って、一人あたりのエネルギー使用量が増えていくことと表裏一体の関係にある。こうした状況の中で、CO₂を排出しないうえ、エネルギー確保の多様化にも役立つ「原子力」の復活が世界的な趨勢となりつつある。原爆の被爆国として、原子力に不安を持つ人々も多い中で、この問題をどのように捉えたらよいのか、ともに考えていきたい。

(世界および日本のエネルギー情勢)

- わが国は1970年代の二度にわたる石油ショックから代替エネルギー開発と省エネルギーに取り組んできたが、それからの経済発展によってエネルギー消費はさらに進んで、国全体の、また一人あたりの消費量も世界の中でトップクラスの高い水準にある。
- 現在世界は、とりわけ人口増加と経済発展の著しい中国、インドをはじめ各国とも資源確保に力を注いでおり、自給率4パーセントと世界でも最も低い水準にあるわが国としては、環境対策を考えたエネルギーの長期安定確保が、これからの国家的課題であるといっても過言ではない。



- エネルギー資源の問題を考えるにあたって心しておくべきことは、わが国における最大の課題は、低い自給率と中東、アフリカ、ロシアなど特定地域に偏在している石油、ガスの確保が最大の懸念材料猛烈な経済発展の進む人口大国の中国、インドの動向資源を海外から運ぶための輸送上の安全確保資源価格の上昇を軸としたロシアなどの資源ナショナリズムの台頭原子力の安全確保、核不拡散と理解活動の推進などである。

(原子力発電の現状)

- わが国においてはこれまで、国の「エネルギー政策」があまり明確にされてこなかったが、2002 年の「エネルギー政策基本法」の成立以降「エネルギー基本計画」「原子力政策大綱」「原子力立国計画」が相次いで発表され、今後の国の方向性が明らかになった。

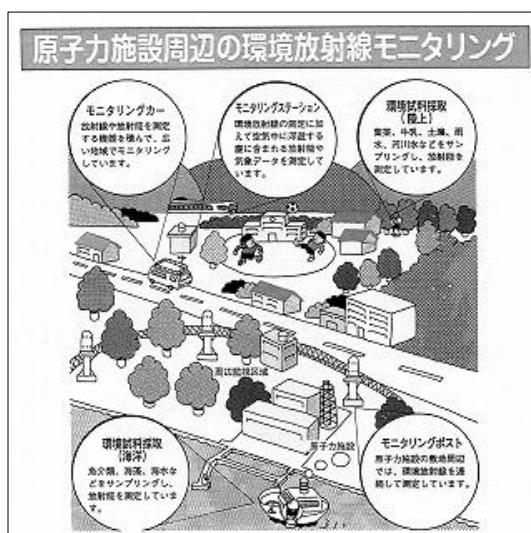
- ・ 現在わが国では 55 基、約 5000 万キロワットの設備が稼動し、電力の約 30%を発電しており、米国、フランスに次いで 3 位となっている。
- ・ 国の事情によって多少は異なるが、エネルギー資源の総量確保とCO2の削減という環境題から、30年建設のなかった米国はじめ経済成長の著しい中国、インドはじめ世界各国で新規建設計画が浮上している。
- ・ 原子力発電の安全性は多重防護の考え方の上に立って、放射能の異常な放出を抑えるための「止める」「冷やす」「閉じ込める」対策に万全を期している。 柏崎・刈羽原子力の地震災害では、構内の変電所火災などで、特に地域の皆さんに大変な心配をおかけしたが、発電所の基本機能は維持された。
- ・ 原子炉を動かすと、発電に必要な熱とともにさまざまな放射線が発生する。その防護措置をしっかりとっておくことはもちろんだが、私たち自体も自然放射線や医療上の放射線と一緒に生活していることもよく知っておくことが必要である。

(原子燃料サイクル)

- ・ 資源のないわが国では、ウラン資源のリサイクルとなる原子燃料サイクルを完結していくことが必要。再処理工場など各施設の運営、建設が青森県の六ヶ所村で進められている。
- ・ 再処理して取り出されたプルトニウムは、当面、ウランと混ぜた MOX 燃料として、プルサーマル発電として活用され、発電しながら消費した以上の燃料を作り出すことができる高速増殖炉が実用化すれば、ウラン資源の利用効率を 60 倍と飛躍的に高めることができる。

(放射性廃棄物の処理処分)

- ・ 発電により発生した放射性廃棄物は、液体や雑固体の低レベル廃棄物はドラム缶に詰めて六ヶ所村で埋設処分され、使用済み燃料を再処理して発生する高レベル廃棄物は、ガラス固化して、30~50 年間冷却した後、300 メートル以上の地中に地層処分することとしているが、現在その適地を得るための理解活動を国、事業者が一体となって進めている。



(原子力にかかわる今後の課題)

- ・ 今後原子力がエネルギー資源の中心的存在として時有用な役割を担っていくためには、稼働率の向上によるエネルギー資源量の確保
- ・ 原子力と国民、地域との共生
- ・ 迅速適切な情報提供と説明や、エネルギー教育による原子力理解の進展
- ・ 技術開発をはじめとした国際協力の推進
- ・ 原子力関係者の人材確保

が必要である。

(記録:佐々木 正)

『南米回想 -技術協力、日系人社会とのふれあい、自然と暮らし』

話をする人：橋本 鋼二

司 会 者：濱野 幸雄



話をする人：農林水産省の研究機関で稲、大豆などの試験研究や研究管理に従事、平成6年北陸農業試験場長を最後に定年退職。その後パラグアイで国際協力事業団（JICA）の技術協力プロジェクトのリーダーなどを務める。大豆の研究で農学博士。

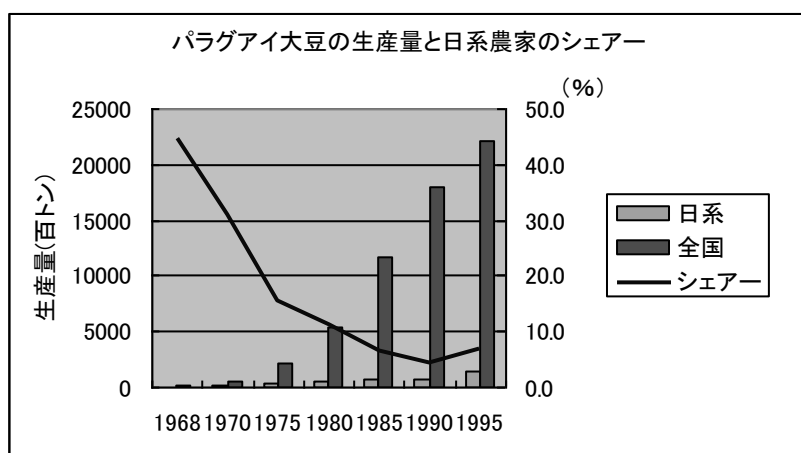
最初に南米の概況について図示しながら、その光と陰にふれた。次いで日本の国際協力の中から、大きな成果を挙げたブラジルのセラード開発、パラグアイの農業協力と大豆栽培における日系移住者の寄与など技術協力の現場にたった体験を交えながら説明、さらに日系移住者とのふれあいや出稼ぎ問題などについてふれた。最後に写真や手製ビデオを使いながら、スケールの大きな大陸の魅力を語り、テーマ全般について質疑を受けた。

I 日本の国際協力から—技術協力の現場にたって

いろいろな協力(ODA)の姿を概説し、パラグアイにおける日本の協力事例を示した。

知って欲しい国際協力の成果

(1)ブラジルのセラード開発： セラード（閉ざされたところ）と呼ばれ、不毛とされていたブラジル中央高原において3期21年にわたる農業開発協力事業を実施し、8州の原野に21カ所の開発拠点を作り34.5万ヘクタールの農地を造成、持続可能な農業技術を開発し、地域開発のパイロット的な役割を演じ、技術の波及効果から、大生産基地となった。セラード地域の農業生産のブラジル国内シェア(2000年)は大豆(53%)、トウモロコシ(40%)、コーヒー(50%)、綿花(80%)にも達し、農業部門の輸出増大に寄与したばかりでなく、アグロインダストリー(搾油、繰り綿、精肉、ジュースなどの工場や養鶏、養豚業)の発展、アグリビジネス(生産資機材の販売、関連産業)の伸展をもたらした。未開の状態とプロジェクト事業地を視察した状況も交えながら説明した。



(2)パラグアイにおける農業研究協力と

日系移住者の貢献： パ国研究機関の整備と研究指導、パ国内 JICA 直営の農業試験場などを通じ、技術の開発と普及が進んだ。技術の受け入れ先としての日系移住地の果たした役割は大きく、周辺への波及効果があった。移住地生産の大豆シェアや、全国の大豆生産量などグラフも加え、説明した。現在は大豆がパラグアイで最大の輸出産物で輸出総額の35～40%を占めている。

(3) 大豆生産に占める南米の大きさ： 北米を抜く勢いで生産増加し、世界的な需要の伸びに対応し食糧供給の安定に寄与。需要は中国の輸入急増などでおお逼迫し、価格が上昇傾向にある。大豆生産が増え国際価格が安定していたことによる輸入国日本の利益、輸入の多角化による食料安全保障策としての価値など協力に投じた費用を上回るリターンがあったと評価している。



左上 セラード開発第3期事業地内の大豆畑



右上 大豆新品種発表会(2001年3月)にはバ国大統領(中央)も参加。右隣筆者

(4) その他： チリにおける漁業協力では養殖漁業の発展が目覚しく、海面養殖サケの生産成功で生産額・輸出額が急増し、われわれも日常口にするようになっている。

II 日系移住者とのふれあいから

南米移住が始まってからおよそ100年、4世、5世までいるブラジル・ペルーに対して、パラグアイ、ボリビアは戦後(1950～60年代)移住が中心となっている。土地の準備はされていたが、自ら原始林を切り開き、インフラを整備しなければならなかった(JICA直営地188千ha)。輸出できる作物の選択・開発が必要であった。道路などインフラの未整備に苦しむ。離農し都市へ移ったり、隣国に転住または帰国した人も出た。大豆が救世主となるまでの苦労は並大抵のことではなかった。大豆栽培の成功は日系農家が先進技術を取り入れ、販路を見つけ、輸出に成功したこともあり、次第に周辺部にも技術が波及していった。それを支えたのがJICAの技術協力をはじめとした多面的な支援である。

移住地の中を朝散歩していたら、「おはようございます」と声がかかる。親の出身地のなまりが子供にも残る。日本の伝統食と素材(日本米、餅、味噌、醤油、豆腐、こんにゃく、納豆など)を大事にしている。パーティはアサード(バーベキュー)と伝統食のミックスが多い。多くの人がカラオケ、パークゴルフを楽しむ。

III スケールの大きな大陸の魅力

(1) 氷河もあるパタゴニア地方 南からの冷たい風(アルゼンチン、チリ)

(2) 熱帯の緯度にあっても雪をかぶるアンデス山脈の高山、涼しい高原でのアンデス農耕文明遺産(ペルー、ボリビア)

(3) 広大な農地で営まれる大規模な農牧業(ブラジル、アルゼンチン、パラグアイなど)

(4) 豊かな水、大河アマゾン(マナウス)とパラナ流域(イグアスの滝、イタプア水力発電)

(記録：橋本 鋼二)

野外サロン

「歴史と文化の香る町、足利名所めぐり」

日時：5月8日(木) 7:45~18:00

スケジュール：

J R八王子駅南口 (7:45) → 圏央道 → 関越道 → 北関東道 → 大田 I C → ^{おおつえ}栗田美術館 → レストラン大津栄にて昼食 → ^{ばんなじ}史跡足利学校 → 鑢阿寺 → J R八王子駅南口 (18:00)

参加者総数：84名(一般40名、プロバス44名)が2台のバスに分乗

バスの中で訪問先の栗田美術館、足利学校及び鑢阿寺の資料が配布され、更に栗田美術館のビデオが上映された。足利学校と鑢阿寺については、プロバスクラブ宮崎会長による詳細な解説が行われた。

1. 栗田美術館



創立者故栗田英男(平成8年没)の収集による伊万里、鍋島を館蔵する世界最大の陶磁美術館である。足利市の東郊外にあり、三万坪の自然の景

勝を生かし、山野草を中心とした作庭の中に、本館、歴史館、無名陶工祈念聖堂、世界陶磁館などがある。建築物は極めて格調高く、個性的で魅力ある殿堂である。美術館の極めて大きな特色は、江戸時代(1603~1867)肥前鍋島藩で生産された伊万里、鍋島のみを展示し、これ以外の作品に対しては一顧だにしない信念と、一貫した思想の美術館であることである。伊万里は日本で最初に作られた磁器で、オランダ東インド会社により西欧に輸出され、大いにもてはやされ、その数三百万個といわれる。

2. 足利学校

敷地：38,900 m²(11,800 坪)；建物：中門、孔子廟、鎮守(神社)、方丈(教室)、書院、御文庫、隠寮、土蔵など；庭園、番所(守衛)、役人屋敷、教師の住居、学生寮。七代校長九華和尚の時は学業がもっとも盛んで、生徒3千人とある。

創設と変遷：室町時代から江戸時代にかけて、関東にあって有名かつ最高学府。創設には諸説あり。

①奈良時代：^{しもつけこうの}下野国府野(足利)の地内に、大宝律令(701)により郡司の子弟を対象に官吏養成を目的に^{こくの}国学(学校)が創設された。国府野遺跡の出土瓦から推定。万葉集編纂の時代(759年前後)には国学を創設する文化的環境は整っていたと考えられる。国学とは小規模の大学で儒教、数学、などを教え、官吏の養成所。13~17才。卒業までに9年。卒業すると官吏に登用される。

②平安時代初期：^{たかむら}小野 篁(学者)が陸奥守になり下向の時に建てたという説。篁は養老律令の注釈書^{りょうのきげ}「令義解」(834)の編集委員。足利学校孔子廟内に像がある。篁の7代目子孫小野孝泰が武蔵守として下向し八王子周辺を開発、後に小野義孝が横山姓を名乗り、武士集団横山党の党祖となる。

③鎌倉時代：^{よしかね}足利義兼の記録に、出家して^{ばんあ}鑢阿と号し、足利に^{ばんなじ}鑢阿寺と学校を有しているとある。鑢阿とは^{ばんあ}梵語で大日如来を意味する。義兼は建久6年(1195)46歳で出家し足利に隠棲した。この居館跡に建てた堀内御堂が後に鑢阿寺という足利氏の氏寺となる。足利学校は地方郡司層の没落の中で10世紀頃から衰え荒廃していたが義兼は一族の子弟教育、修養の場として12世紀末頃に復興したと推定されている。

④室町時代：上杉憲実^{のりざね}(越後上杉房方の三男、関東管領)が再興。永享4年(1432)4月以後、足利荘の管理に当たったようで、鎌倉円覚寺の禅僧快元を学校長として招き足利学校を再興した。その後上杉氏は衰退。戦国乱世^{もんぜん}の中、学校は火災にあい大半を消失するなど苦難をこうむる。北条氏政は永禄3年(1560)に「宋刊本文選」(国宝)を寄進するなど支援を行ったが、やがて北条氏は滅亡。学校の所領は没収され、豊臣秀次により学校の典籍什器類が京都に持ち去られた。(当時八王子城の城主は北条氏照で氏政の弟)。

⑤江戸時代：豊臣秀次自害の後、徳川家康の斡旋で典籍什器類は返還され、足利学校領、高百石を下付された。幕府の寺社奉行支配下に置かれ、校長は幕府の任命制となった。従って、学問所としての性格を薄め、徳川將軍家を護持する寺社的な性格を帯びるようになり、幕末まで存続した。

歴代校長(^{しょうしゅ}庠主)

4百年間23代、明治元年まで続いた。特記すべきは、23人中、2人の校長が八王子から出たことである。

●再興初代校長 快元和尚：鎌倉円覚寺の禅僧。足利学校を再興し以後4百年の基礎を築いた。

●再興4代校長 九天和尚：1485年頃足利学校に入校。その後、明国に亘り12年間医学を学び、帰国後、朱子医学を唱える。

●再興7代校長 九華和尚：学業最も盛んで、生徒3,000人といわれる。

●天文18年(1549)、フランシスコ・ザビエルの通信文に「京都には有名な一の大学(ユニバーシチ)あり、尚また五つの主要な学林(カレッジ)と二百余の僧院あり。……坂東の学院あり、日本国中最も大にして有名なり」の記述あり。

●16世紀後半の日本に触れた、フロイスの「日本史」に、日本の諸大学は欧州の諸大学とは異なる。学生の最多数は僧侶か僧侶になろうとして学んでいる。従って、諸宗派の教理を主に学び、若干、天文学、医学がある。なお、日本に総合分科を有する唯一の大学がある。それは坂東地方の足利にある、と記載している。

●再興16代校長 月江和尚(享保~宝暦年間)：諱は元澄、淳子と号す。武蔵八王子の人。1728年八代將軍吉宗が日光参廟の帰途、使いが派遣され、蔵書が検められ、学校よりは蔵書目録が献じられた。百両の下賜金を得て、学舎を修理する。雷火のため書院、方丈、包厨等消失したが、聖廟、文庫、三門は免れた。

●再興18代校長 青郊和尚：天明7年(1787)43才で就任、在任18年。諱は元牧、成子と号す。俗姓は山室藤九郎、武蔵八王子森久保の人(1744~1810)。「周易啓蒙翼傳」等を寄贈。11代將軍家斉の時、寛政初年、幕府が異学を抑え、しきりに朱子学を鼓吹、足利学校も一時内部を革新し、従来萎縮した学校を振興せんと務める。寛政5年(1798)には学校を「自習館」と称し、学則を立て、校規を制し、積奠の式(聖廟祭祀)を改定し、学寮の職掌を規定するなど、教育の面目を一新した。足利学校の記録30~40巻まで自ら編集。学校敷地内にある歴代校長の墓の中に青郊和尚大禅師の墓碑あり。山室家は上恩方龍泉寺(鎌倉期の鉄仏聖観音像あり、入口に青郊先生顕彰碑)の下にあった。(陣場高原行きバス停、関場から醍醐川を1キロ上流の森久保)



4. 鑊阿寺^{ばんなじ}

足利氏の氏寺。足利氏2代目吉兼が建久7年(1196)自らの館内に持仏堂を建て本尊として大日如来を祀ったのが始まりである。敷地内には堂塔が建立され、周辺に供僧十二坊をおき、歴代の当主によって寺院規則や数々の年中行事が定められ整備が進み、足利氏の本貫地である足利荘の核としての役割を担った。周囲に土塁と濠をめぐらした寺域は、ほぼ正方形で約4万平米あり、鎌倉時代の武士の屋敷(平城)の面影を今に伝えている。なお、この寺にあるべき大日如来像が、いつの日かアメリカに流出し、現地のオークションで日本に買い戻されたと報道され、話題となった。

(記録 矢崎安弘 荒 正勝)

第12回生涯学習サロン閉講式・特別講話・さよならパーティ

平成20年5月22日 午後2時30分

地域奉仕委員長 阿倍和也の司会で始まりました。

第12回生涯学習サロン閉講式・さよならパーティ

- ・会長挨拶 東京八王子プロバスクラブ 会 長 宮崎 浩平
- ・来賓紹介
- ・来賓祝辞
 - 八王子市教育委員会 生涯学習スポーツ部 部 長 菊谷 文男
 - 東京八王子南ロータリークラブ 前会長 廣瀬 武彦
 - 全日本プロバス協議会 副会長 吉川 哲朗
- ・、受講者代表挨拶 橋本 治義

特別講話

司 会 立川富美代

「日本にオペラがやって来た日！」

日本オペレッタ協会 指揮者

角 岳史

ゲスト ソプラノ歌手

針生美智子

ピアノ伴奏

畑野かん奈

- ・閉講のことば 東京八王子プロバスクラブ

副会長 矢島 一雄

さよならパーティ

『みんなのWAを楽しみませんか』司会 立川富美代

乾 杯

東京八王子プロバスクラブ

前会長 濱野 幸雄

合 唱

はにかみオジン合唱団

ピアノ演奏

畑野かん奈

フラダンス

フラ・オレンジ

バナナの叩き売り

下田 泰造会員

宮崎 浩平 会長挨拶

本日は大勢の皆様がこの閉講式にお集まりいただき誠にありがとうございます。

またご多忙のところ八王子市教育委員会より、生涯学習スポーツ部部長 菊谷文男様、東京八王子南ロータリークラブより前会長 廣瀬武彦様、全日本プロバス協議会副会長 吉川 哲郎様、東京多摩プロバスクラブより平田会長にお越しいいただき誠にありがとうございます。

さて、『光陰矢のごとし』と云いますが、八王子プロバスクラブが2月28日に、第12回の生涯学習サロンが始まりまして、無事、本日の閉講式を迎えることができましたのは、皆様のおかげと厚く御礼申し上げます。小倉先生の『浅川の自然環境：水のお話』に始まりまして、本日のさよならパーティーをもちまして終了いたします。生涯学習サロンの方は、歴史・文化・経済・音楽に加えまして、話題性のあるものを取り入れました。裁判員制度・八王子の庚申塚信仰・激動する中国・原子力などを話させていただきました。また、最後の野外サロンには少し遠出になりましたが、栃木の足利学校など見て回りました。皆様すこしお疲れになったのではないのでしょうか。疲れ以上に楽しさがあつたらよかったと

思う次第ですが、どうぞ忌憚のないご意見を後からでも結構ですので頂戴いただければと思います。私共プロバスクラブは1年で役員が交代になります。どうぞ、来年も今回同様に新しい役員で皆様をお迎えできれば幸いだと思っております。私共も、今後、切磋琢磨いたしまして楽しい生涯学習サロンが出来ますよう努力してまいるつもりですのでどうぞよろしくご支援のほどお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様方のご健勝を祈念いたしまして、来年も元気にお目見え出来ますことを心より祈りまして簡単でございますが、私の挨拶とさせていただきます。

ご来賓の方々より温かいご祝辞を頂戴いたしました。

受講者代表挨拶 橋本 治義様



只今、ご紹介にあずかりました橋本でございます。一言御礼と感謝を述べさせていただきます。私達は、東京八王子プロバスクラブの第12回生涯学習サロンに参加し、大変お世話になりました。私は、昨年1月に梅沢香代子さんが主宰する『オレンジの会』10周年に出席いたしまして、そこで、東京八王子プロバスクラブの生涯学習サロンがあることを知りました。早速受講して、すっかり魅せられた私は、来年もまた、こんなに素晴らしいサロンが開催されるのであるなら、と心待ちして今回も参加させていただきました。このサロンの魅力はたくさんありますが、まず講座のテーマが興味深いものが多く揃っていること、また、内容も充実していること、また受講生を尊重して選択制になっていること、それとカリキュラムの構成が大変よくできていまして、開講式から閉講式までの間、4週目の講座が終了した後、改めた日で、野外サロンが準備されておりました。今年は、歴史と文化のかおる街、足利の名所めぐりということで大変素晴らしい研修を一日したわけで、おかげさまで楽しみながら勉強することができました。私が今回受講したものは、『ジブシーの謎を追って』、『上杉鷹山の師・細井平州から学ぶ教育の原点』、『激動する中国を視る』、『原子力はいま』と4講座すべて受講しました。諸先生方の講義はさすがキャリアを感じさせる内容の濃いもので大変興味深く、時には熱心な先生の迫力に引き込まれて時間を忘れたほどでした。そして、これらの講座の先生がプロバスクラブの会員であることを聞き、大変驚きました。こうしたご自分達の手作りの生涯学習がプロバスクラブの会員のご努力により、すでに12回も開催しており、その内容は受講生をして、人間回復につながる生涯学習サロンにまで磨きあげられていることに心より敬意を表したいと思います。私達は、この生涯学習サロンを通じて、知る楽しみをたくさん頂いたこと、人を大事にするプロバスクラブ皆さんの、心の温かさが伝わって参りまして、大変心がいやされる思いでした。これは何よりも代えがたい幸せな体験であり、参加して本当によかったと思っております。誠にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。最後になりましたが、東京八王子プロバスクラブ様のますますの発展を祈念いたしまして、受講者としてご挨拶させていただきました。ありがとうございました。

『日本にオペラがやって来た日！』

話をする人：日本オペレッタ協会

指揮者 ^{すみ} 角 ^{たけし} 岳史

司 会：会 員 阿部 和也



話をする人：島根県生まれ。東京学芸大学芸術課程音楽家卒業。指揮と作曲を学ぶ。1995 年からウイーンに留学研鑽を積む。（財）日本オペレッタ協会の会員として、指揮者または合唱指揮者として、たくさんのオペレッタ公演にかかわっている。八王子フィルハーモニー管弦楽団の演奏会の指揮や八王子フィルハーモニー合唱団の常任指揮者も務めている。

I. 日本のオペラの黎明期

日本にオペラがやって来た日を特定することは、なかなか難しいことと思います。1820 年 10 月 文政 3 年 長崎出島でオランダ人のために短いオペラが上演されました。長崎奉行をはじめ数多くの日本人も観たと記録に残っております。1820 年と申しますと、まだベートーベンもシューベルトも生きておりました。ベートーベンの第九が初演されたのが 1824 年ですから、それも出来ていなかった。それから後、1858 年ペリーが黒船で来航し、その居留地で最初のオペラも上演されました。

時代は明治に変わった 1870 年 9 月 28 日、横浜の、今で言いますと中華街の処に『中華劇場』という劇場があり、そこで、イギリスの作曲家サリバンと云う人が作ったオペレッタ『コックスとボックス』という作品が上演されました。この曲が初演されたのはイギリスで 1866 年、そして楽譜が出版されたのは 1869 年ですから、横浜で上演された 1870 年というのは楽譜が本国で出版された翌年ということになります。意外にヨーロッパでやっていたものが直に日本にやって来たのですね。この上演は、半分はアマチュアグループで上演したもので、本格的なオペラ本邦初演と云えるかどうか微妙なところでもあります。

本格的なプロフェッショナルなオペラの団体が日本に来て、上演されたのは何時かと申しますと、もう少し時代は新しく、1876 年 ロネイ・セファス劇団の公演がまとまった内容のオペラとして、日本で初めて上演されました。演奏されたのはオフエンバックの『ラ・ベリコール』・『ジェロルスタン大公殿下』そして、『美しきエレヌ』といった、オフエンバックのオペレッタならびにその周辺のフランスのオペラコミックだったようです。

このあと 1879 年に来日したヴァーノン歌劇団は、先ほどお話ししましたロネイ・セファス劇団と比べてはるかに大勢の人数の本格的なオペラ団の来日公演と云って差し支えないほどでした。……日本の観客には歌手の声がまるでニワトリが絞殺される様だと不評であった。ここで、この『ジェロルスタン大公殿下』から、『ブン大将登場の歌』をお聴きください。（CD演奏）

次に、我々日本人だけのオペラはどのようにして発展していったかについて話を進めたいと思います。1903 年東京音楽学校（現在の芸大）の卒業生達によってオペラ グルックの「オルフェオとエウリディーチェ」が上演されました。ご存じのプッチーニの『蝶々夫人』がイタリアで上演されるのが 1904 年ですから、その 1 年前に日本人の手によりオペラが上演されました。日本人のオペラの歴史が始まったと云えるかもしれませんが、日本人によるオペラとしては、十分な成功を収めました。男女の学生が夜遅くまでオペラ稽古をするのは風紀上良くないという文部省の御達しでその後の再現が潰されてしまいました。

ここで、特別出演の、ソプラノ 針生美智子さんとピアノの伴奏の畑野かん奈さんによる、『リゴレット』のアリアを生演奏でさせていただきます。（生演奏）

II. ローシー時代、そして浅草オペラへ

1912 年明治天皇が崩御あそばされて、大正という新しい時代がやって来るその年、日本オペラ界最大の功労者の一人が来日します。ローシーというイギリスからやってきたイタリア人です。45 歳、日本の帝国劇場に招かれてやって来ました。そして浅草オペラの時代までプリマドンナであり続けた大スター原信子の登場です。その後公演した主な演目には『蝶々夫人』・『夢遊病の女』等のオペラや『コルヌヴィユの鐘』・『マスコット』・『ボッカチョ』と云ったオペレッタ、そして面白いことに先ほどお聞かせしました『ジェロルスタン大公殿下』もやはり上演されました。何よりも好評であったのは『天国と地獄』です。ここで、『地獄とオ

ルフェ』日本名『天国と地獄』を聴いていただきます。(CD演奏) この曲は運動会でもよく耳にします。

帝劇との契約を終了させられたローシーですが、本国に戻らず日本に残りました。そこで、自分で私財を投入し、『ローヤル館』というミュージックホールを造って、オペラの殿堂としようとしたのですが、舞台機構や客席等の問題があり、また、稽古は相当厳しく新人の歌手や合唱団員も稽古に出なくなり、**原信子**や**清水金太郎**と云った帝劇時代からの歌手もあまり稽古に出てこなくなりました。団員は少し売れるようになると浅草の方に流れてしまいました。当時、19歳の新人の**田谷力三**というテノールがデビューして椿姫を歌うのですが、それを最後にローヤル館は閉館してしまいました。

ここで先ほどの『ジェロルスタン大公殿下』から、『**ブン大将登場の歌**』をお聞かせしましたが、同じ曲ですが別の演奏で流します。歌っているのは**エノケン**です。(CD演奏)

さて、浅草オペラが始まりましたのは、ローシーがロイヤル館で悪戦苦闘している少し前くらいから始まっていました。1920年の大恐慌の影響を受けましてオペラを上演していた沢山の劇場がオペラを止めてしまいます。東京でオペラを上演していたのはこの金龍館だけとなり、その分、質の高いスター歌手が一堂に会し、レベルの高い興業が続けられ、浅草オペラの黄金時代と云われるようになりました。上演された作品は『トロヴァトーレ』・『セビリアの理髪師』・『アイダ』・『カルメン』・『カヴァレリア・ルスティカーナ』・『ホフマン物語』・『コシ・ファン・トゥッテ』・『ドン・バスクアーレ』・『道化師』と云ったオペラが上演されました。今日、オペラの名曲として親しまれているレパートリのほとんどが、この時代に勢揃いしている感じがあります。

それでは、再びソプラノ **針生美智子**さんとピアノの伴奏の**畑野かん奈**さんによるスッペ作曲によるオペレッタ、『ボッカチオ』から、『**恋はやさしい野辺の花よ**』 この歌は**田谷力三**が歌っているので男の歌のように思えますが、実際は可愛い女の子の歌です。(生演奏)

浅草オペラですが、面白いことに原曲にまったく違う歌詞をのせて新しい曲のように、今では考えられないようなことが行われていました。こういう名曲があります。

一曲お聴きください。『**コロッケの歌**』(CD演奏)

1923年(大正12年)9月1日午前11時58分関東大震災が発生しました。浅草の観音堂を残して全て倒壊されました。六区にありました浅草オペラの劇場も、衣装も、道具も、楽譜や台本が一瞬のうちに燃えて、灰になってしまいました。その後、**エノケン**に代表されるように軽演劇・ミュージカルに繋がっていきしました。

そのあと**ロシア歌劇団**・**イタリアからカーピ歌劇団**が本格的なオペラ団がやって来ました。そして、**原信子**や**藤原義江**等がより本格的なオペラの上演を目指して独自に活動し始めます。

IV 日本から海外へ

海外からオペラがくるだけでなく、日本からも海外に出かけました。日本人独自の演出とメイクをして、ヨーロッパに持っていき、演じて大好評を得るようになりました。山田耕作が幾つものオペラを作曲していますし、日本でのオペラ活動を推進していました。その後、彼だけでなく、日本でつくられたオペラが海外で公演するのも珍しくなくなりました。

次に聴いていただくのは、『**蝶々夫人**』と團伊玖磨作曲の『**夕鶴**』です。この『夕鶴』と云う曲は、1948年、**木下順二**の戯曲『夕鶴』を台本に基づいてかかれました。初めは、劇団民芸による放送劇として、収録しようとして、音楽担当として若い**團伊玖磨**が選ばれ作曲を依頼されました。ところが、かれは、この夕鶴に魅せられ、是非オペラにしてみたいと思い、**木下順二**にたのみました。一言一句戯曲を変更してはならないという木下からの承諾条件の下に作曲し、オペラ『夕鶴』が誕生しました。

これからお聴きいただきますのは、**針生美智子**さんの**プッチーニ**作曲の『蝶々夫人』から、『ある晴れた日に』と **團伊玖磨**作曲の『夕鶴』から、『**私の大事な与ひょう**』を歌っていただきます。

伴奏は**畑野かん奈**さんです。お聴き下さい。(生演奏)

最後に**針生美智子**さんに合わせて、皆さんにも歌ってもらいます。オペレッタの名曲、『ヴィリア』を**針生美智子**と、合唱部分を参加者と一緒に歌いながら、本日の特別講話「日本にオペラがやって来た日！」を終了します。

(記録：長谷川貴訓)

第12回東京八王子プロバスケットボール生涯学習サロン参加者数

	期 日	一般参加者	PC会員	合 計
開 講 式	平成20年2月28日(木)	40名	54名	94名
サロン第1週	平成20年3月13日(木)	59名	56名	115名
サロン第2週	平成20年3月27日(木)	49名	54名	103名
サロン第3週	平成20年4月10日(木)	55名	54名	109名
サロン第4週	平成20年4月24日(木)	52名	56名	108名
野外サロン	平成20年5月 8日(木)	40名	44名	84名
閉 講 式	平成20年5月22日(木)	57名 (64)名	53名 (50)名	110名 (114)名
合 計		352名 (416)名	371名 (421)名	723名 (837)名

()内はパーティ参加者含む

開講式

平成 20 年 2 月 28 日

八王子エルシィ



野外サロン

平成 20 年 5 月 8 日

栗田美術館にて



閉講式 ・ さよならパーティ

平成 20 年 5 月 22 日

八王子エルシィ



市教育委員会菊谷部長



南ロータリー廣瀬前会長



全日本プロバス協議会

吉川副会長



日本オペレッタ協会 指揮者 角 岳史氏



針生美智子さん



畑野かん奈さん



はにかみオジン合唱団（会員）



フラ・オレンジの皆様と会場が一つになって



下田会員によるバナナ叩き売り